

ツヤ、喜怒哀樂ノ情アリテ外物ノ刺激ヲ被ムリテ然ルニアラサルヲ以テナリ、故ニ其心氣和適シテ純一ナルヲ以テノ故ニ然ルヘミ、有道者モ亦然リ、有道者ハ、其心純一敢テ外物ノ爲メニ動搖セサルヲ以テ、莊子所謂入レ水不レ溺。入レ火不レ熱。ノ氣象アルナリ、○吳子曰、蛟ハ赤子ノ陰。號ハ啼ナリ。噬ハ咽ナリ、嗥ハ聲嘶ナリ、形未タ完カラズシテ、氣自ラ專ラニ、情未タ成セズシテ、氣自ラ應ス、其精氣純一ノ極ニ由ルナリ、聲久シク費ンテ氣傷マス、其和氣調適ノ甚シキニ由ルナリ、

知和。曰常。

○小兒ノ心ハ、何時モ平氣ナル故ニ、嗚咽スレバ、其聲ノ變リナキ如ク純朴自然ノ徳ハ、萬古不變ニシテ、森羅萬象ノ根抵ト爲ルモノナレハ、此ノ和一至柔ノ所ニ注目スルヲ常久不變ノ道ヲ知ルト言フ、○希逸曰和ハ紗氣ノ守リナリト、即チ赤子ノ純和ナル處ヲ言フ、朱子云フ赤子ノ心ハ未タ知ル所アラズ、故ニ純一ニシテ偽リナシ

知常曰明。

○夫レ道ハ、目見ルヘキ無ク、口以テ稱スヘキモノ無ク、玄妙不可思議ノモノナレバ、天地之ヲ得テ、天地ト爲リ、森羅萬象、亦皆之ニ依頼スルモノナレハ、其常久不滅ナルヲ明カナルナリ、故ニ無形無物ノモノナレ共、其体ハ至明湛然ナルモ、萬物ヲ照ラサ、ルヲ無ク、故ニ其常久不滅ナルヲ知ルハ、畢竟其至明ノ体ニ明カナルヲ以テナリ、

益生曰祥。

○祥ハ吉凶ノ総名ナリ、分テ言ヘハ、吉ノ先ツ見ハル、ヲ祥ト曰ヒ、凶ノ先ツ見ル、妖ト言フ、左傳僖公十六年。春。隕石アリ、于宋。周内史叔與聘ニ干宋。宋襄公問曰。是何祥。吉凶焉。在。是レ吉凶ヲ総稱スルナリ、五行傳ニ青祥白祥之類云々ノ語アリ、故ニ凶事亦稱シテ祥ト云フ、此ノ處ハ凶ノ義ニ見ルヘシ

○物皆自然ノ道ニ依頼シテ、發達スルモノナレハ、天地ノ間ニ、生ヲ保ツモノハ、其生ヲ養フモ、過不及無ク、適度ニ任セサルキハ殃ヒトナルナリ、譬ヘハ、小兒ハ小兒ノ發達ヲ適意自然ノ儘ニシテ、コソ能ク成長スヘシ、若シ之ヲ大人同様ニ均シクシテ、其飲食等ノ生ヲ養フモノヲ度外ニ益シテ、其發達ヲ自然ニ任セサルキハ、決シテ成育スルヲナシ、故ニ人ハ其一身ノ爲メニスルコトナモ、其分ニ從ヒ、天然ニ任スヘシ、然ラズンハ、前五十章所謂死之徒ヲラン、故ニ分外ニ生ヲ保タントスルヲ不吉凶事ト言フナリトテ、人ヲシテ一身ノ欲ヲ恣ニスヘカラサルヲ戒ムルナリ、

心使氣曰強。

○強ハ強梁ノ義ニテ、疎暴ナルヲ謂フ

○心ハ所謂神明ノ宿ニテ、虛無自然ニシテ、赤子ノ純一無爲ナルト一般ニナルヘキモノナルニ左ニアラスシテ、肉體ノ欲ニ任セ血氣ヲ使ヒ、耳目口鼻ノ悦フ所ニ從フキハ、其心已ニ道ト相離ル故ニ、之ヲ稱シテ疎暴狂剛ノ所爲ト云フ、疎暴狂剛ニシテ、其志シテ達シテ功ヲ得ルモノ無ク、故ニ人其心ヲ外ニ動かサ、自然ノ儘ニ從フコト、赤子ノ心ノ如クナルコトハ、不レ覺不レ識發達シテ其志シテ得ヘシ、○吳子曰、天地ノ正氣ニア

ラサルヲ妖ト曰フ。赤子純氣ノ精ノ如クナル能ハサレハ、則チ形ヲ恃ミテ、氣ヲ助ク、是レ外養ノ幼身ヲ以テ、其生ヲ益ス、氣ノ生ニアラサルナリ、情ニ由テ氣ヲ動かスナリ、是外感ノ欲心ヲ以テ、其氣ヲ使フ、特ニ人爲ノ強カラサルナリ、  
**物壯將老。謂之不道。不道早已。** ○不道ノ字一

○夫斯クノ本ヲ忘レ、外ニ馳セ、剛強ノ行ヲ爲セ、其強極ムレハ、必ラス折レ、物壯ノ勢ツヨケレハ、必ラス老耗衰弱スルナリ、真ノ強ハ左ニアラス、常久不變ニシテ折クヲ無ク、撓ムルヲ無ク、終始同一ナリ、譬ヘハ鏡面ノ常ニ虚々々々トシテ、能ク物ヲ照スカ如シ、然ルニ一時血氣ニ任セ、其本心ノ自然ニ從ハス、中途ニシテ、折レ撓ムモノハ、是常ノ道理ヨリ、流レ出ツル。強ニ非ラサレハ、不條理ノモノト謂ツヘシ、斯ク不條理ノ、事ノ惡シキヲ知ラハ、一時モ早ク、肉體ノ欲ヲ恣ニシ、氣ヲ使フヲ止メテ、自然ノ道ニ復歸シテ、真正ニ身ノ攝養ヲ爲シ、死ノ後タルヲ免ルヘシトテ、首句含徳ノ意ヲ結ヒ、主意ヲ裏面ヨリ不道ノ二字ヲ以テ見ハセリ、蓋シ首句赤子ノ字面ヨリシテ、中間骨筋等ノ數文字ヲ下シ、末壯老ノ二字ヲ見ハシ、赤子ニ呼應ス、文字ノ用法尤モ妙ナリ、讀ムモノ亦之ニ由リテ、作文ノ法ヲモ并セ悟ルヘシ、○蘇子曰、益レ生使レ氣其自然ニ聽スルヲ能ハスシテ、日ニ道強ニ入りテ、而シテ老之ニ從フヘハ、則チ其赤子ノ性ヲ失フ、○一説不道早已ヲ解シテ、自然ノ道ニアラサレハ、早ク人爲上己ムル

ヲ待タスシテ、自然ニ早ク己ムト、是説又一參考ニ供スヘシ、而レモ愚ハ、蘇子所謂如知ニ其非義斯速己矣ノ義ト同然ニ見做セリ、

五十六章

**主意** 前章含徳之厚比赤子ノ意ヲ承ケテ、人ノ自然ノ道ニ法ラントスルモノハ、外ニ輝ク光リヲ收メテ、玄德ニ混同スヘキナリト、言フニ在リ、○徳清曰、此ハ聖人天下ノ貴ヲ知ル所以ノモノハ、其善ク養フ所ヲ得ルヲ以テ、忘言ニ妙契シ、道ト玄同スルヲ言フ、

知者不言。言者不知。

○道ハ言語ノ能ク形容シ去ル能ハサルモノコト、譬ヘハ眞ノ美味ノ唯旨キトイフイハ口ニハ言ヘト、其眞味ノ如何コイタリテハ、之ヲ口ニ言フ能ハス、音聲ノ我心ニ感動ヲ與ナル、其面白ササ他人ニ言ヒ得ルモ、其如何ナル面白味アルト、言フニ至リテハ、口ニ大ヘカラス、況ンヤ自然ノ道ノ妙趣ニ於テチヤ、或ハ仁トカ、或ハ義トカ、道ノ一偏一休ハ名ツケテ言ヒ得ルモ、其全体ニ至リテハ、形容シ得サルナリ、故ニ眞ノ道ヲ知ルモノハ、言ハス、或ハ仁ト義トカ言フテ道ノ一偏ヲ唱フルモノハ、是眞ニ道ノ全體ヲ知ルモノニアラサルナリ、莊子曰夫知者不言、言者不知、故聖人行ニ不言之教ト是意ナリ、

塞其兌。閉其門。挫其銳。解其紛。和其光。同其塵。是謂玄同。○玄ハ玄妙自然ノ道ト區別スヘ

カサル如ク自然ナルヲ玄同ト云フ

○以上ノ如ク、眞ニ道ヲ體スルモノハ、兎角言語杯ヲ弄セサル故ニ、常ニ必ラス、言語ノ出ツ所ノ口ヲ緘シ、本體ノ道ヲ守リ、外ニ馳セ出テス由ル所ノ門ヲ、關シテ家ニアル如クニシテ、外物ヲ塞キテ、私意私智ヲ弄セサルナリ、又鋒ノ鋭ナルモノハ、物ヲ害シテ折レ易シ、故ニ聖人ハ其氣分ヲ兎角扣目ニシテ、物ニ應ジテ、我心ヲ紛亂搖動スルモノヲ解キテ、心神ヲ安靜ニスルナリ、人何程名譽材能ノ光輝アルモ、是ヲ以テ世間ニ見ハサントスル所ハ、害ヲ被ムルコトアルナレハ、其光ヲ和シテ輝カサス、蟲ノ塵埃ノ中ヲ脱セサル如クコ、衆人ヲ飛越ヘルカ如キコトセシテ、世塵ト推移スルナリ、斯ク何事モ我ヲ忘レ、衆ト同スルハ道ノ物ヲ區別セサルト、其氣象同一ナレハ、斯クノ如キモノコソ、是ヲ玄妙自然ノ道ニ混同シテ、其本ヲ忘レサルモノト謂フナリ、○蘇子曰、道ハ言説ニアラス、亦言説ヲ離レサルナリ、然レモ能ク知ルモノハ未ダ必ラスシモ言ハス、能ク言フモノハ、未ダ必ラスシモ知ラス、唯塞兌閉門以杜其外、挫銳解紛和其光同其塵以テ其内ヲ治ムルモノ、默然同シカラスシテ道ト同シキナリ、故不可得而親。亦不可得而疎。不可得而利。亦不可得而害。不可得而

貴。亦不可得而賤。故爲天下貴。

○夫道ハ天地萬物ニ周流普遍ニスルコト、彼我ノ別ナク、親疎ノ差ナキ故ニ、道ヲ體スルモノモ、此ニ則リ親疎貴賤ノ等ナク、善惡邪正ノ別ヲ立テサル故ニ、天下ノ眞ニ愛スル所ト爲リ、貴フ所ト爲ルナリ、若シ然ラズシテ一方ヲ親愛スルノ情アレハ、情盡レハ亦疎ンシ、利スルアレハ、亦害スルアリ、賤ニスルアレハ貴フ所アリ、其貴賤親疎ハ、元來道理上ヨリ觀察スル所ハ、無キモノナルニ、然ルニ斯ク等差分別スルハ、畢竟薄情ナルモノトナルヘシ、故ニ親無レハ、疎モ無シ、貴賤上下ノ別ヲ分ケスシテ、其道公平ニ、其澤萬物ヲ均シク覆フヘシ、是ソ眞ニ貴フヘキ所以ニシテ、常久不減ノ道ニ叶ヘルナリト、○蘇子曰、得テ親ムヘケレハ、則チ亦得テ疎スヘシ、得テ利スヘケレハ、則チ亦得テ害スヘシ、得テ貴フヘケレハ、則チ亦以テ賤スヘシ、道ヲ體スルモノハ、均シク萬物ヲ覆フテ、孰レチカ親疎ヲ爲サン、等ノ逆順ヲ觀テ、孰レカ利害ヲ爲サン、榮辱ヲ知ラスシテ、孰レカ貴賤ヲ爲サン、情計ノ及ハサルトコロ、此天下ノ貴タル所以ナリ、○吳子曰、恩ハ骨肉ノ如シト雖モ、而レ凡人ノ相忘レ、不可得而親ナリ、邈然途人ノ如シ、而シテ人相遠サカルニ忍ヒス、不可得而疏ナリ、名位貨財ヲ外ニシテ人能ク相益スナシ、得テ利スヘカラス、死生禍福ヲ外ニス、人能ク相損スルナシ、不可得而害ナリ、勢名君長ノ如シ、人之ト相狎ル不可得而貴ナリ、眇然匹夫ノ如シ

而シテ人敢テ相慢セサルナリ、不レ可ニ得而賤ナリ、凡此六モノハ、人ノ能ハサル所已  
獨リ之ヲ能クス、故ニ天下ノ最モ貴フ可キヲ爲ス、

五十七章

主意 天下國家ヲ治ムルコハ、清淨無欲ヲ以テ、正ト爲シ、奇巧ヲ用ヒ、民ヲ誘フヘカ  
ヲサルヲ言フ、

以正治國。以奇用兵。以無事取天下。

○上章ニ陳述スルカ如ク、道理上ヨリ觀ルルハ、彼我善惡ノ分ツヘキナシ、故ニ一家  
ヲ治ムルコハ、一家ノ法ヲ以テシ、國家ヲ治ムルコハ、正ヲ以テシ、已ムヲ得ズシテ、  
與ヲ用ルルハ、奇ヲ以テスル如ク、斯ク時ト場合ニ應ジテ、皆自然ノ道ヲ以テスル  
ハ、一家一國天下亦治ムルニ意ナクシテ、自然ト治マルナリ、』本文取ノ字ハ、天下  
自然ニ我レニ歸服シテ、我所有物トナルナリ、此節三句ハ、物ノ自然ニ任セテ、我智慧  
立セサルノ意ヲ説クナレハ、吾何以知其然ニ以此ノ節迄ハ、上章ニ屬シテ立同ノ義  
ヲ一氣呵成ニ布演スルモノト知ルヘシ、○蘇子曰、古ノ聖人ハ、遠ヲ柔ケ、邇ヲ能クシ  
兵ヲ用ルルニ意無シ、唯已ムヲ得ス、然ル後ニ征伐ノ事アリ、故ニ國ヲ治ムルヲ以テ  
正ト爲シ、兵ヲ用ルルヲ以テ奇ト爲ス、然リト雖モ、此亦未ダ以テ天下ヲ取ルニ足ラ  
ス、天下ハ神器爲スヘカヲサルモノナリ、爲スモノハ、之ヲ敗リ執ルモノハ、之ヲ失フ

唯道ヲ體スルモノ、廓然トシテ、事無シ、故ニ天下ヲ取ラヌト雖モ、而レモ天下之ニ歸  
セン、○吳子曰、奇ハ僅カニ、兵ヲ用ルルニ施スヘシ、以テ國ヲ治ムヘカラス、正ハ僅  
カニ國ヲ治ムルニ施スヘシ、以テ天下ヲ取ルヘカラス、無事ハ三皇無爲ノ治ニテ、天  
不レ言四時行。百物生。ノ如ク人ノ服從ヲ期セスシテ、而シテ天下服從セサル無シ、故  
ニ唯無事ノモノ天下ヲ取ルヘキナリ、

吾何以知其然以此。○此ノ字立  
同ノ字ヲ指

○何ヲ以テ、天下無事ニシテ治マルト言ハント、他ナシ萬物一體ニ彼我均一ニ國ヲ治ム  
ルコハ、正ヲ以テシ、兵ヲ用ルルニハ奇ト言フ如クニ、時ト場所ニ依リテ、應シ方ハ異  
ナレモ、自然玄妙ノ徳ニ離レサルヲ以テナリト、以上五十六章ニ屬シテ講スル可ニ似  
タリ

天下多忌諱。民彌貧。○一本天ノ字ノ上夫ノ字アリ○忌諱ハ法律禁制ヲ言フ、  
即チ民ノ畏レ避ル所ノモノ、故ニ禁令ヲ忌諱ト云フ、

○自然ノ道ヲ以テ、天下民衆ヲ正サスシテ、法律禁令ヲ設ケ増シテ、以テ天下ヲ壓服セ  
ントセリ、天下其威ヲ畏レ、一時服スルニ似タレモ、然レモ、一タヒ手ヲ舉ケ足ヲ搖カ  
セハ、則チ罪戾ニ陷サルヲ以テ、畏避スル所アルヲ以テ、生ヲ安シ業ヲ樂ム能ハサル  
ヲ以テ、貧愈々甚シキニ至ルヘシ、  
民多利器。國家滋昏。○利器ハ兵仗戰具、其他網罟杵臼  
舟車ノ類、民ニ便利ノ器械ヲ言フ、

○世開ケ、民間便利ノ器械多ケレハ、國次第ニ富强ニ向フ如クナレハ、老子ヨリ、之ヲ見ルルハ、却テ國家衰運ニ向ヒ、愈々暗黒時代ニ陥ルルナリト、蓋シ兵仗武具ノ完成スルニ從フテ、戰亂愈々起リ、天下泰平期スルナキニ至ルノ類ナリ、

人多伎巧奇物滋起。○伎一本ニ技ニ作ル。○伎巧ハ、大工ノ類、利器ヲ作ル工ヲ言フ。○奇物ハ珍ラシキ、器物莊子ニ所謂桔槔機械ノ類、○通義ニ曰、技ハ才能ナリ、巧ハ巧詐ヲ止タニ工藝ノミニアラサカナリ、奇物ハ珠玉珍玩奇異得難キノニテ止タニ、器用ノミニアラサルナリト、是說亦是ナリ、

○人民本業ヲ事トセス、唯末伎ノミニ趨ルルハ、田疇荒蕪シテ、珍奇異物滋々世間ニ發明スルニ至リテ、國本愈乏シク成リ、愈々伎巧ヲ争フヒ奇偽ノモノヲ售ルニ至ルナリ

法令滋彰盜賊多有。

○民末利ヲ事トシ、本業ヲ務メサルハ、勢ヒ國家衰弊シテ、盜賊起ラサルヲ得ス、盜賊起ルルハ、法令ヲ以テ、之ヲ禁セサルヲ得ス、然レモ寧知盜賊ノ起ルハ、人君ノ本ヲ務メヌ末ヲ趨ヒ道ニ任セス法ニ依ルヲ以テナリ、故ニ曰フ、法令ノ滋々世ニ彰カニ、益々繁キニ亘タルハ盜賊ヲ生スノ素因ヲ作ルナリト、○吳子曰、法令彰カナルハ、忌諱ノ多キ所以ナリ、奇巧ノ多キハ、利器ノ多キ所以ナリ、盜賊ノ有ルハ、民ノ貧キニ由ル奇物ノ起ルハ、國家ノ昏キニ由ルト、眞ニ明解ト謂フヘシ、故ニ讀者此意ヲ以テ、法律ノ明カナルカ爲メニ、盜賊ヲ作ルト視爲ス勿レ、即チ人君忌諱ノミチ多クシ、法律ノ

ミチ本トスルニ由ルナリ、

故聖人云。我無爲而民自化。我好靜而民自正。我無事而民自富。我無欲而民自朴。

○故ニ人君タルモノハ、譬ヘハ人ノ身體ノ頭目ノ如キモノナレハ、人君ノ欲スル所、見ル所ニ從フテ、人民モ化スル故ニ、道ヲ体スル聖人ハ、無爲自然ニシテ、格別規則立テテモスシテ、天下ニ臨ムルハ、民亦各其分ニ任セテ、感化歸服セルナリ、又人君心ヲ外ニ馳セズ、心神ヲ安靜ニシテ奇貨異物聲色等ノ欲ヲ恣ニセサルハ、民各其風ニ薰陶感染シ、其位地ヲ亂サス、農ハ農ノ職ヲ盡クシ、士ハ士ノ分ヲ正スナリ、又人君ノ馳騁田獵ナドト云フ如キ、事ニ心ヲ寄セス、有ノ儘ナル事ヲ爲スルハ、民モ亦其本業ノ外ニ心ヲ寄セサル故ニ、自ラ富有ト爲ルナリ、又我レ人君タルモノ、無我無欲ニシテ、唯自然ノ道ニ任セテ事ヲスルハ、民心モ自ラ其德ニ化シ、亦質素純朴ニシテ、他ヲ願フ心ナシ、他ヲ願フ心ナケレハ、何ソ忌諱ヲ用ヒントテ、天下國家ヲ治ムルハ、清淨無爲ヲ本トシテ、法律禁令ノ末ヲ以テ御スヘカラサルヲ言フ、五十七章主意是ニアリ

五十八章

主意 前章ハ民ヲ爲ムルニ意アルハ、天下益々亂ル、一チ主トシ言ヘリ、此章ハ前

章有爲ノ害ヲ治ムルハ、無爲ナラサルヘカラストテ無爲自然ノ効ヲ重シテ言フ、  
其政悶々其民醇々。○悶ハ氣分ノ閉チテ鬱々タル義ナレバ、唯内ニ込リテ外ニ光  
ルチ音フ  
純朴ナ

○聖人ノ政ハ、無爲自然ノ理ニ據ル、故ニ別ニ禁令法律ヲ以テ、民ヲ畏避セシメサルヲ  
以テ、其政ノ様子、兎角因循ニ引込ミ勝チノ模様アルモ、其實ハ然ラス、恰モ天地ノ萬  
物ヲ化成スルカ如ク、其德澤ノ及フ所大ナリ、大ナル故ニ、其狀悶々タルモ、其民、皆  
忠信朴實ニシテ、其分ニ安ンシ、本業ヲ事トシ、肯テ末利末藝ノ事トシ、能ク争ヒ、利  
ヲ競フ如キ巧詐ノ風習ハアラサルナリ、○王曰言フ心ハ善治ノ政ハ形子無ク、名無ク  
事無ク政ノ舉クヘキナクシテ、大治ニ至ル故ニ曰フ、其政悶々ト其民寛大ニ争競スル  
所ナシ、故ニ其民淳々ト曰フ、

其政察々其民缺々。○察々ハ精明ナリ  
○缺々ハ不足ナリ  
○人君刑名法律ノミチ明カニスルモ、其政治察然トシテ觀ルヘキ若キナレバ、下貧シ  
ク物足ラス、是以人民愈々本業ヲ事トスルヲ能ハシテ、放僻邪侈ノ行ヒヲ爲スニ至ラ  
ン、是畢竟人君其本ヲ務メサルニ由來スルナリ、  
禍兮福之所倚。

○世俗ノ人ハ、物ノ循環相推ス所以ノ理ヲ知ラス、故ニ禍福善惡ヲ分チ、一方ニ安  
ンセリ、夫レ福ノ來ルハ必ラス禍アリテ、然ル後生スルモノユテ、譬ヘハ晝夜寒暑ノ  
相倚ルカ如シ、然レハ人一時ノ不遇ヲ以テ、汲々トシ功名利祿ノ爲メニ迷ヒ私智ヲ弄  
スルヲ無ク、其禍ヲ忘ルコソ自然ノ道ニ叶ヘルモノナリ、  
福兮禍之所伏。

○禍福ノ相倚ルコトハ、人ノ老稚生死ノ、相離ルヘカラサル如モノ故ニ、一時已レノ望ミ  
通り、其志ヲ達スルモ、其レト同時ニ不幸ノ事、陰伏スルナリ、寒中ニ暑ヲ含ミ陽中  
陰氣ノ伏スルカ如ク、禍福相離レサルノ理ヲ知リテコソ、富テ驕ラス貧シテ屈セサル  
ナリ、

孰知其極其無止。○止一本正  
ノ字ニ作ル

○俗人ハ禍福貧賤ノ相倚伏スルコトヲ知ラサル故ニ、禍福常アリテ永續スルモノト思ヒ  
テ、其極マリアルヲ知ラサルナリ、其極リアルコトハ日月ノ盈虚消長ノ理ト同一ニシテ  
福極マレハ禍トナリ、禍極レハ福ト爲リ、其理相倚伏シテ止マリ無シ凡人ハ福來レハ  
極リ無ク、何時迄モ、幸福ナルコトニ思ヒ、逸樂驕傲シテ、遂ニ禍ヲ招クモノ多シ、是レ  
畢竟禍福倚伏ノ理ヲ知ラサルヲ以テナリ、  
正復爲奇。善復爲妖。

○天下國家ヲ治ムルニ、眞面目ニ法律禁令ノ威ノミヲ以テ任スルモハ、民畏避恐々シテ本業ニ安ンズルヲ能ハス、勢ヒ奇僞巧智ヲ弄シ、人々相欺キ、遂ニ國家ヲ争擾スルニ至ル、故ニ俗人ノ一時、視テ正ト思フ政ハ奇ト爲リ、善ト爲ス事ハ、惡ト爲リ、天下國家永續セサルモノハ、畢竟道ノ大体ニ着目セサルヲ以テノ故ナリトテ、下句ヲ引キ起ス、

人之迷其日固久。

○此クノ如ク、常人ノ禍福善惡ヲ分別シテ迷フ事、一朝一夕ニアラス、故ニ天下一時治マルコ似タレモ、大亂其内ニ伏シテ、天下無事安穩ナルヲ希シ、蓋シ常人ハ道ノ一偏ノミニ拘泥シ全体ニ着目セサルヲ以テナリ、○息齋曰、其政閔々、民ニ求メ無キカ若クニシテ、民巧ヲ以テ上ニ應セズ、故ニ其民醉々タリ、察々己ニ得ルアル若クニシテ、而シテ民巧ヲ以テ免ルヲ求ム、故ニ其民缺々タリ、天下ノ事、禍福ノ倚伏ヲ相爲シ從來スルコト久シ、政閔々トハ、得ノ我ニ在ル無クシテ、得ルノ民ニ在ルナリ、政察々トハ、失ノ民ニアルアリテ、得ルノ我ニアルアリ、我得ハ彼失ヒ我福アレハ、則チ彼禍ヒス、自然ノ理ナリ、昧者ハ理道ノ正ヲ知ラス、専ラ察ヲ以テ明ト爲シテ、僥倖ノ福ヲ求メ、遂ニ正ヲシテ、復々化シテ奇ト爲シ、善復化シテ、妖ト爲ス、人ノ迷フコト其日久シ、

是以聖人方而不割。

○割ハ毀損ナリ

○凡ソ聖人ノ天下ヲ治ムルハ、全体大要ノ所ニ注意シテ、一方ニ拘束セサルナリ、譬ハ水ノ方圓ノ器ニ從フ如ク、時ト場合ニ應シテ、其用ヲ異ニスル、故ニ常人ノ法律禁令ノミヲ用井ル如クニアラサル、故ニ決シテ天下我ニ服セサルヲ無ク、四方則ラサルナシ、蓋シ物ノ方形ナルモノハ、物ヲ犯シ觸ル、モ、聖人ハ大方ニ注意スル故ニ此患ナシ、

廉而不制。

○廉ハ稜ナリ ○制ハ割ナリ  
リ芒利物ヲ傷ルヲ言フ

○物ノ稜角アルモノハ、他物ニ觸レテ、害シ易スケレモ、聖人ノ天下ヲ治ルニハ、清潔ニシテ、其汚穢ヲ去ラシムレモ、清廉ノミニ拘束シテ他物ヲ傷ラサルナリ、蓋シ禁令法律ハ設クト雖モ、是レカ爲メニ、弊害ヲ引起ス様ノコナキヲ喻フ、

直而不肆。

○直ナルモノハ、惡ヲ容ル、一能ハサル、故ニ肆ニ人ノ短チ發キ、刑禍ニ陷井レントスレモ、聖人ノ直ナルモノハ、然ラス、道理上ヨリ、觀察シ、直不直ノ別ヲ立テス、直ハ直ナリニ、之チ處シ、惡ハ惡ノ儘ニ處置セル故ニ、俗人ヨリ、之チ見レハ、直ノ性質ヲ失フニ似タレモ、此ノ如ク直ノミニ拘ラスシテ、民ノ不直、自ラ直ニ歸スルナリ、亦

大直若屈ノ意ト同シ、  
光而不耀。

○凡ソ物ノ光リアルモノハ、一方ノミチ炫耀セサル故ニ、俗人ヨリ見ルキハ光輝乏シキ  
カ如クニ、見レバ、其實然ラサルナリ、譬ヘハ晝間ノ光リハ、夜間月光ノ如ク輝々タラ  
サレバ、一隅一物トシテ、明カナラサルハナシ、聖人ノ政ハ、悶々トシテ、角立チタル  
光輝ハアラサルコ似タレバ、其民淳々トシテ、其光輝ヲ被レリ、故ニ真正ノ光リハ、一  
時外面ニ煥發炫耀セサルナリ、然ルニ是理ヲ知ラサルモノハ、法律刑政ノ威ヲ以テ、察  
々ノ政ヲ爲サントスル、故ニ其民次第ニ巧偽ヲ爲シ、以テ遂ニ國法ヲ輕スルニ至ルナ  
リ、故ニ人君ノ天下ヲ治メントスルモノハ、道ノ大体ニ注意シテ、一方ニ拘束シテ、察  
々ノ政ヲ爲サンヨリ、寧ロ悶々ノ政ヲ爲スヘシト、起首ニ呼應シテ、主意ヲ歸宿ス、悶  
々ノ字、光而不耀ノ句ニ落着セシヤル尤モ妙、○吳子云、方ハ物ノ方ノ如シ、四隅ニ稜  
アルナリ、廉ハ堂ノ廉ノ如シ、一面稜アルキハ、其稜皆刃刃ノ能ク人ヲ傷害スルカ如  
シ故ニ割ト曰ヒ刺ト曰フ然レバ割ノ害差ヤ刺ヨリ、重シ人ノ方ナルモノ、轉旋無シ廉  
ナルモノハ、分別ナシ、其事ニ遇ヒ、物ニ觸ル、必ラス、傷害スル所アリ、直ナルモノ  
ハ、隠テ容ル、能ハス、其言ヲ縱肆シ、以テ人ノ短ヲ許ク光アルモノハ、韜晦スル能ハ  
スシテ、其行ヲ炫耀シ、以テ己レノ長ヲ暴ス、聖人ノ無事ナルモノハ、事トセサルチ

以テ、事ト爲ス、方ナルモノ、必ラス割ク、方ナラサルチ以テ方ト爲スキハ、則チ割ナ  
ラス、廉ナルモノハ、必ラス刺フル廉ナラサルチ以テ廉ト爲スキハ、則チ刺ナラス、直  
ナルモノハ必ラス肆ナリ、直ナラサルチ以テ直ト爲スキハ、則チ肆ナラス光ナルモノ  
必ラス耀ナリ、光ナラサルチ以テ光ト爲スキハ、則チ耀ヤカス、

五十九章

主意 内外共ニ自然ノ道ヲ以テ相養フチ言フ、畜ノ字尤モ重シ、蓋シ吝嗇ノ高ト同シ  
ク、物事扣目コ仕マヒ込ミテ、己ムチ得サルニアラサレハ使用セサルナリ、内ハ即  
チ精神コテ外、ハ一身ヨリ天下ニ至ル迄無益ニ氣ヲ用非サルナリ、皆畜ノ字中ニ含

ム、○徳清曰聖人欲テ離レ性ニ復リ、以テ外王内聖ノ道ヲ爲スナリ  
治人事天莫若嗇 ○天ハ人ノ精神ヲ言フ、内ニ屬シ、人ハ他人コテ外ニ屬ス、○

○天下人民ヲ服スルコ意アルキハ、兎角私智巧慧ヲ用非、愈々其痕迹ヲ外面ニ見ハシ、  
法律禁令ヲ繁クスルニ至ル、是以民畏避逃竄シテ本業ニ安ンシ、生ヲ樂ムコ能ハサル  
ナリ、人ノ一身ニ於ケル亦然リ、我一身ノ生ヲ保タントシテ、役々營爲遂ニ氣力衰ヘ、  
精神萎靡スルモノアリ、故ニ天下人民ヲ爲ムルニハ、自然ノ儘ニ任セテ悶々昏々トシ  
テ、一時ニ事ヲ處セス、自然ニ任スルキハ、水ノ大海ニ注クカ如ク、漸次ニ天下無爲ナ  
リ、一身モ亦然リ彼此トセスシテ、氣分ヲ仕マ非込ミテ、外ニ汲々セサルキハ、精神モ



鎮マリ、氣力モ存スル故ニ、一身ノ攝養法、此ニ倚フルナシ、國家ノ攝生法モ、斯クノ如クニ着實ニ扣目ニスルコソ、肝要ナリト、

夫唯畜是謂早服。○服ノ字一本復ノ字ニ作ル

○斯クノ如ク、物事扣目ニ、内ニ仕舞込ミテ、積蓄スルキハ、事アルキニ於テ、充分ノ使用ヲ爲スコトヲ得ヘケレハ、事ノ未タ起ラサル前ニ早ク服膺スヘシトテ、外ニ馳セズ、内ヲ守ルノ工夫ヲ示スナリ

早服謂之重積德

○以上ノ如ク、自然ノ道德ヲ内ニ重子積ムコト、平日ヨリ愈々重子テ道德ヲ積ミテ、外ニ使用セサルヲ言フ、

重積德無不克。

○自然ノ道德、充分ニ内ニ積ミ重子ルキハ、萬事萬方ニ應シテ、コト克ク成ラサルハナシ、彼ノ堯舜ノ民ハ、一人モ其所ヲ得サルモノナシ、トハ畢竟ソノ德厚ケレハナリ、

無不克則其知其極。

○德ヲ積ムコト、厚ケレハ、萬變ニ應シテ、窮リ無キ故ニ、其溘與ノ何如程アルヤ知ルヘカラス、猶大海ノ水ノ如ク、渺然浩蕩トシテ、其極マル所ヲ知ルコト無シ、

莫知其極可以有國。

○其ノ如ク、萬變ニ應シテ極リ無キ故ニ、其德能ク國家ニ應用シテ、無爲自然ニ治ムヘキナリ、

有國之母可以長久。

○國家ヲ有ツ位ヒ、其德ノ働キアルナレバ、然レバ其働キノミニ着目スルハ、已ニ末ナレハ、其母タル根元ノ道ニ注意シテコソ、其德衰ヘサル故ニ以テ國家長久ニナルヘキナリ、

是謂深根固抵。長生久視之道。

○斯クノ如ク、國家ヲ治ル上ニテモ、其根本タル母ヲ脱セサル様ニ、注意スルキハ、國家ハ永久ニ治マル、故ニ是ヲ草木ニ譬フレハ、根抵ヲ永ク培養スルキハ、枝葉繁茂シテ、花果ヲ得ルナリ、故ニ兎角外ニ馳セス、本ヲ務メ養フコソ、生々止マヌシテ、虛無自然天下ニ王タル所以ノ道ニ叶ナヘルナリ、蓋シ精神元氣強ケレハ、長壽ヲ保子視力モ衰ヘス、依然強壯ノ時ト變ラサルナリ、即チ内外共ニ扣目ニ致シ、攝生スルコソ其法ヲ得タルト云ツヘシトテ、畜字ノ主意此ニ歸宿シテアリ、

六十章

主意 自然ノ道ノ保ヲサル可カラサルヲ云フ、前章ハ國ヲ重ンシテ説ク、此章ハ國ト

精神トノニツチ分ツモ、重ニ精神上ノ工夫ヲ説ク、○徳清曰此ハ無爲ノ益ハ民ニ福  
利アリテ、返ツテ有爲ノ効ヲ顯スチ言フ、

治大國若烹小鮮。○小鮮ハ

○小魚ヲ料理シテ、烹ルルハ、其形ノ儘ニシテ烹ル、若シ箸ヤ匙ニテ餘リ搔廻スルハ、  
却テ頽ル、コアリ、國ヲ治ムルモ、其ノ如ク、屬々法令ヲ更ヘテリ、或ハ條目ヲ増シテ  
彼此搔廻スルハ、國家自ラ優々トシテ治マル能ハサルナリ、故ニ小鮮ヲ烹ル如ク、自  
然ノ道ニ任セ、清淨無爲ニシテ、之ニ臨ムルハ、國家自ラ治マルナリ、此一句ヲ顧シテ  
下面ノ道鬼云々ノ句ヲ引キ起ス、○大鮮ハ種々割キ切リテ煮ル故ニ大鮮ニ喩ヘス小  
鮮ヲ以テ喩ヘシナリ、○韓非曰、工人數々業ヲ變セハ、則チ其功ヲ失フ、作者シハク  
搖徙セハ、則チ其功ヲ亡ホス、一人ノ作ル日ニ、半日ヲ亡シ、十日ナルルハ、五人ノ功  
ヲ亡ス、萬人ノ作ス日ニ、半日ヲ亡ヒ、十日ナルルハ、五萬人ノ功ヲ亡ホス、然ラハ則  
チ、數ハク業ヲ變スルモノ、其人彌衆クシテ、其虧クル彌々大ナリ、凡ソ法令更レハ  
則チ利害易ル、利害易レハ、則チ民變テ務ム、變テ務ムル、之ヲ業ヲ變スト云フ、故ニ  
理ヲ以テ之ヲ觀ル事、大々衆シテ、數ハク之ヲ搖カセハ、則チ功ナル少シ、大器ヲ藏  
シテ數ハク之ヲ徙セハ、則チ敗傷ス、小鮮ヲ烹テ、數ハク之ヲ搔セハ、其澤ヲ賊フ  
大國ヲ治メテ數ハク、法ヲ變スレハ則チ民之ヲ苦ム、

以道蒞天下其鬼不神。

○蒞ハ高キヨニ下キニ臨ムノ義ニテ支配スルヲ言フ○鬼  
ハ靈怪ヲ爲シ、災妖ヲ興スモノニテ、俗ニ云フ神様ナリ

○虛無自然ノ道ニ任セテ、天下ヲ支配スルルハ、所謂其政闕々、其民淳々トシテ、天下國  
家亦、無爲自然ニシテ化シ、匹夫匹婦モ、其所ヲ得セサルト云フコト無キニ至リ、其政一  
トシテ、非難スヘキ點アルナキヲ以テ神様モ、神威ヲ降タシ、罰ヲ當ツル所無シ、○蘇  
子曰、聖人ハ無爲ナル故ニ、人ヲシテ、各其自然ニ安セシメ、外煩ヲハス、所ナク、内長  
ル、所ナシ、則チ物能ク侵スナシ、鬼ト雖モ神ヲ用井ルトコロ無シ、○神ハ鬼ノ勸ヲ  
キナリ、

非其鬼不神其神不傷人。

○國民皆其所ヲ得ル故ニ、罰ヲ當テ加フ處ナシト雖モ、鬼神ノ徳ハ固ヨリ神靈ノ勸ヲキ  
アルナレド、其威光ヲ施シ人ヲ傷ルタケノ、惡事ヲ爲スモノ無キ、故ニ其神靈ヲ輝カ  
シメ人ヲ傷ラサルナリ、

非其神不傷人聖人亦不傷人

○唯鬼神ノ人ヲ傷ラサルノミナラス、人間ヨリ云フモ、聖人モ自然ノ道ヲ守リテ惡事ヲ  
爲サ、ルモノニ何如テ刑罰ヲ設ケテ其民ニ加ルコトアロウヤ聖人ハ法ヲ以テ人ヲ傷  
ハサルナリ、○王曰威綱ヲ恃ミテ以テ物ヲ使フハ治ノ衰ナリ

夫兩不相傷。故德交歸焉。

○斯クノ如、鬼神ニシテモ、聖人ニシテモ兩方トモ、人民ヲ傷ハスト云フノハ、民ノ惡事ヲ行フモノ無ケレハナリ、民ノ惡事ヲ行ハス無爲ノ化ニ則ルモノハ、畢竟人君ノ國家ヲ治ムルニ、自然ノ道ニ任シテ、小鮮ヲ烹ル如クニ、播種サ、ルヲ以テノ故、ミ、故ニ鬼神ノ罰ヲ降ガサス、人民ヲ咎メサルノ故ナリ、聖人ノ法禁ヲ以テ、民ヲ威サ、ルノ故ナリ、皆互ニ歸着スル所相違セサルナレリト、即チ治大國若烹小鮮ノ功能ヲ此ニ見ハシテ、人君威綱ニ任セズ、無爲ニ任スヘキヲ云フ、蓋シ此處鬼神ヲ以テ、説ケ刑罰ヲ施シテ、人ヲ傷ハサルニ喩フ、前章ハ長生久視之道ノ字ヲ以テ、身ヲ修ムルヲ主ニ説ク、此章ハ國ト精神トノ二ツニ説キタレト、徳ノ字ヲ以テ結フヲ見レハ、精神ヲ主トシテ説ケリ、○呂子曰、夫レ唯神人ヲ傷ハサレハ、則神徳ヲ人ニ皈ス、神人ヲ傷ハスシテ人亦徳ヲ神ニ歸ス、故ニ夫兩不相傷ニ故徳交歸焉。ト曰フ、

六十一章

**主意** 前章ヨリ一層ヲ進メテ、兵力威力ヲ以テ、人ヲ治メントスルハ、其宜シキニ非ラレハ、却テ下流ニ由ラサル可ラサルナリト、大國下流ノ句ヲ冒頭ニ措キ、以テ其意ヲ釋述セリ、○徳清曰、此ハ天下ニ君タルモノハ、當サニ靜勝ヲ以テ主ト爲シ、力ヲ以テ相尙フヘカラサルヲ言フ、○希逸曰、此章大國小國ノ欲スル所ヲ得ルヲ借リテ、以テ道ヲ學ブ人ノ宜シク謙ナルヘク、宜シク靜ナルヘキニ喩フ、人ニ教フルニ、

自ラ下リテ以テ勝チヲ取ルニ非ラズ三代ヨリ、而下世々國ヲ取ルノ事アリ、故ニ其見ル所ニ因テ喩ヘト爲スノミ、

大國下流

○眞ニ國家ヲ有ツモノハ、兵力威力ノ強キヲ恃マシテ、兎角扣目ニ以テ出張ラサルナリ、譬ヘハ海ハ大ナルモ下ニ位ス、故ニ百川能ク之ニ歸セリ、大國ノ強大ニ任セサル故ニ、天下之ニ歸スルナリ、

**天下之交。天下之牝。** ○牝ハ牡ニ比スレハ柔順ニシテ靜ナリ、故ニ貪リ求メスシテ扣目ニスルニ喩フ、

○天下萬國ノ交リ我ニ歸スルハ何ソヤ、乃チ威力甲兵ノ力ヲ借リテ勝チヲ求メス、柔順ナルコト牝鳥ノ如キヲ以テナリ、○交ハ我ニ交リ歸服サセルナリ、

**牝常以靜勝牡。**

○牝ハ柔順ノ性ナレトモ、柔堪ニシテ堪忍力アル故ニ、勝チ得ルナリ、牡ハ其性剛ナレトモ、中途ニシテ止ムルコトアリ、故ニ牝ノ柔ナルニ勝ツコト能ハサルナリ、

**以靜爲下。**

○牝ノ牝ヲ制スルハ、其靜カニ柔順ニシテ、躁動貪欲ナラサルヲ以テナリ故ニ天下ヲ取ルモノ、亦扣目ニシテ柔順物ニ逆ハス貪欲ナラサルヲ以テナリ、

故大國以下小國則取小國。

○以上牝牡ノ喩ヘノ如ク、大國ニテモ其勢力ヲ弄セシテ下ヲ出テ居ルハ江海ノ下ニ居リテ百川ヲ容ル、カ如ク、干戈甲兵ヲ用非スシテ自然ト我カ所有ト爲ルナリ、小國以下大國則取大國。○取ノ字ノ下ニ於テ

○小國ノ大國ニ於ケル、一タヒ勢ヒテ示セハ、忽チ大國ノ爲メニ吞滅スル所トナルハ、勿論ナル故コ、小國ノ能ク其害ヲ逃レントスルニハ、其分ヲ守リ、兎角扣目ニシテ、身ヲ屈シ、大國ニ對スルハ、大國能ク容レ受ケテ我ヲ保護スルナリ、故或下以取。或下而取。

○是ノ故ニ大國ト雖モ、下ルキハ天下交リ歸スルニ至リ、小國ト雖モ下リテ交ハルキハ大國ノ保護ヲ受ケテ其國ノ害ヲ免ル、ナリ、○先儒而ノ一字ニ、拘泥シテ小國ハ勿論下ルヘキモノナルコ、若シ下ルキハ大國ヲ所有スル杯ト解セリ、此說可似タレモ、下句ニ小國不過欲兼小國ノ字ニ對スルキハ、太々矛盾セリ、而ノ字ハ、以テノ字ト同様ニ接續詞ト見做スヘシ、○通義ニ而取ハ人ニ取ラルナリト、此說可ナリ、即チ大國ニ飛入リテ、其意ニ逆ハサルナリ、

大國不過欲兼畜人小國不過欲入事人。

○大國ノ小國ニ對スルノ目的ハ、己レヲ離レズ、抗抵セサルコアリ、故ニ干戈甲兵ノ威カヲ借リテ、大國ノ勢ヒヲ示スルハ、小國安堵セズシテ、却テ我ニ從ハサルヲ以テ、小國ヲ兼テ有セントスルモ、能ハサルナリ、小國ノ目的ハ、大國ニ依然服從シテ、見離サレシヲ恐ルコアルナリ、然ラハ目的ノ上ヨリ云フキハ、大國ト雖モ、決シテ兵威ヲ揮カシ小國ヲ威スニアラスシテ、我ニ從フヲ樂ムコアリ、小國モ大國ニ抗抵スルコアラズシテ、己ノ國ヲ維持スルコアリ、然レハ兩方扣目ニスルコソ、目的ヲ達スヘシトテ下句ノ張本ヲ爲セリ、

夫兩者各得其所欲。大者宜爲下。

○斯クノ如ク、目的ヲ大國小國トモ、達スルナレハ、大國トテモ其大ニ誇ラスシテ、小國ニ接シ、小國ハ勿論大國ニ從フテ、其下ヲ手ニ爲ルコソ得策ナラン、然レモ大國ハ、兎角其己レノ強キヲ恃ミニスルモノナレハ、尤モ此點ニ注意スヘシトテ、重テ大國ノ一方ニ就テ、宜爲下トノ訓誡ヲ爲シ、首句大國ハ下流ノ義ヲ結ヘリ、○吳子曰、大ナルモノ、固ヨリ人下ニ在ルコト非ラス、或ハ其下ル能ハサルヲ恐ル、故ニ大者宜爲下ト白フ、章首下流ノ喩ハ、以テ大國ハ、人下ニ在ルコトアラスシテ、能ク下ルモノヲ喩フ牝牡ノ喩ハ、以テ小國、素ヨリ人下ニ在リテ、能ク下ルモノヲ喩フ、○愚曰フ下流ノ義ハ、前章所謂齋ノ意ニテ、威力ヲ吝ミテ、外ニ出サ、ルナリ、此奏始皇、隋煬帝ノ如キ

威力ノミヲ借ルモノヲ戒ム、漢高ノ匈奴ヲ服シ、南越ヲ來タスハ、是真ニ老子ノ道ヲ活用セルモノト謂ツヘシ、

### 六十二章

**主意** 道ハ萬物ノ根抵トナルモノ故ニ、人必ラス之ニ由ラサルヘカラサルヲ言フ、故ニ道者萬物之與ナル一句ヲ提起シテ、以下之ヲ贊美シテ、遂ニ爲天下貴ノ一句ヲ以テ、起首ニ呼應シテ、道ノ至貴至重ナル事ヲ説明セリ、○德清曰、此ハ道ノ貴タルヲ言ヒテ、人當サニ勉力シテ、之ヲ求ムヘキヲ誡メリト、

**道者。萬物之與。** ○奥ハ室ノ西南隅ニテ、尊者ノ居ル所、即チ奥坐席ナリ玉注、奥ハ煖ニテ暖ナル意ト解スルハ非ナリ、

○夫レ道ハ、虚無自然玄妙不可思議ノモノニテ、言語ノ形容スヘキニアラス、耳目ノ見聞スヘキニアラサレバ、天之ヲ得テ、天ト爲リ、地之ニ由リテ、地ト爲リ、萬物ノ大根元ト爲ルモノナレハ、之ヲ家ニ譬ヘハ、家ノ門堂、廊廡ハ、外ニ見ユレバ、奥ニ至リテハ見ルヘカラサレバ、家ノ主席ト爲リ、尊者ノ居所ト爲レリ、故ニ道ハ家ニ於ケル、奥ノ如ク、萬物ノ根本ヲ爲スモノナリ、』是ヲ以テ、道ト一體ニ離レサル、聖人ノ仕爲ハ、之ヲ形迹上ニ顯サスシテ、奥深ク容易ニ、凡眼ノ形容スル能ハサルナリ、故ニ前章ニ其政悶々トシテ、俗ヨリ觀ルルハ恍惚トシテ明カナル成績ノ擧ラサルニ似ヌレバ、其民淳々トシテ、能ク其本業ニ安ンシ、外ニ顯ハサル所以ハ、是レ道ト同一ニシテ、克

ク其奥ヲ脱セサルヲ以テナリ、

**善人之寶。不善人之所保。** ○善人ハ、老子ノ道ヨリ、言ヘハ一通リ惡ヲ働カサルモノト云フ位ニシテ、道ト同一ナル、聖人ヨリ一等下

○道ハ萬物ノ根抵ト爲リ、善人不善人ノ差別ナク、此ノ自然ノ道ニ由ラサルハ微シ、是ヲ以テ善人ハ此ノ道ヲ決シテ離ルヘカラス背クマシキコト、思ヒ、之ヲ大切ニ貴重スルコト、常人ノ金銀財寶ヲ重スルト一般ナリ、不善人ト雖モ其道ニ由ルルハ、其害ヲ免レテ克ク其身ヲ保ツヘキナリ、是レ畢竟道ノ德廣大ナル故ニ、善惡彼我ノ別ヲ立テサルナリ、

**美言可以市。** ○美言ハ商賣人ノイ

○夫レ商人ノ人ニ對シテ、物品ヲ賣ルルハ、物品ノ善長ナルヲ言ヒ、以テ他ニ商賣セリ、然ラハ通常商人ト雖モ、斯道ノ善タルヲ知レリ、人豈ニ此道ヲ離ルヘケン、  
**尊行可以加人。**

○一郷一里ノ中ニテモ、一善行ノ尊フヘキアルルハ、里人皆之ヲ推敬シテ、人ノ上ニ加ヘ、居クヘシ、夫レ商人ナリ、郷閭ノ一尊行ナリ、斯道全ク、貴重スヘキヲ知ルモノナレハ、豈ニ道理上、不善人ヲ保護セサルアラフヤトテ、下句ヲ引キ起ス、

人之不善。何棄之有。

○商人ノ物ヲ售ルルニサヘ、物品ノ善惡ニ拘ハラヌ、善長ナルヲ以テ面ニ唱ヘテ售リ鬻キ  
 田舎小村ノモノサヘ、一小善行ノ貴フヘキヲ知ルナレハ、有道ノ士ハ、不善人トテ其  
 レ打チ棄ツヘケンヤ、道ヲ以テ其不善ヲ改ムヤ一ニ感化スヘキナリ、』蓋シ道理上ヨ  
 リ大活眼ヲ以テ、觀察スルルハ、善不善ノ別ナシ、善ハ不善ニ對スル名ナリ、不善ハ善  
 ニ對スルノ名ナリ、道ニ離レサルモノヲ善ト云ヒ、離ル、チ不善ト云フ、然ラハ、不善  
 ト離モ、道ニ離レヌシテ、之ヲ守ルトキハ、善ト爲リ、善モ離ル、キハ、惡トナル、然ル  
 故コ、聖人ノ天下ヲ治ムルニ善人トテモ、惡ヲ爲スルハ、之ヲ罰シ不善トテモ、改心ス  
 レハ、之ヲ善人同様ニ見做スナリ、然ラハ老子ノ意ハ、不善ノ罪ヲ罰セヌシテ、之  
 ナ善人同様ニ待遇スルト云フコアラサルナリ、所謂君子ニ惡其罪ニ而不惡其人ノ意  
 ナリ、況ンヤ一小市人等モ、皆道ノ一端ヲ口ニスル如キヲ以テ、見レハ假令、己レ充分  
 ノ惡行ヲ爲スモ、コモセヨ、豈ニ改メサルアラヤ、故コ聖人、此ニ注目シテ一旦ノ  
 不善ヲ以テ、永ク之ヲ棄テサルナリ、彼ノ管仲ハ、公子糾ヲ奉シテ小白ニ敵スレトモ、  
 一旦面縛シテ、降レハ、其不善ヲ實メヌシテ、之ニ政ヲ任セリ、是レ桓公ノ大量ナル所  
 以ナリ、且ツ管仲ヨリ云ヘハ、公子糾ニ背クニ似タレバ、其實ハ然ラヌ、公子糾モ小白  
 モ、固ハ齊ノ公子ニシテ同シク兄弟ナレハ、其本ハ一ニ出テタルヲ以テ、何レチ善ト

シ、何レチ惡トセンヤ、皆其兄弟ノ上ヨリ言ヘハ、善惡アルモ其兄弟ヲ生ム父ヨリ云  
 ヘハ、善惡ノ差別ナシ、故コ管仲モ、小耻ヲ忍ビテ、小白ニ事フ、小白亦之ヲ用サルハ  
 其本コ目ヲ注ケハナリ、故コ善惡ヲ分チテ、之ヲ差別視スルハ、常人ノ見ナレハ聖人  
 ノ彼我、無キ所ニ則ルヘシ、則ルヘシ、

故立天子。置三公雖有拱壁以先駟馬不如坐進此道。

○拱壁ハ兩手ニ滿ツル壁ナリ、○三公ハ天

地陰陽自然ノ道ヲ掌トル、他ノ諸有司ノ職ト異ナレリ

○自然ノ道ハ、一日モ離ルヘカラサルモノナル故ニ、天子ヲ置キ、三公ノ職ヲ授ケ其人  
 ナ重ニスルモノハ、畢竟此ノ道ヲ行ヒ貴ヘハナリ、故ニ朝聘等ニ、駟馬ヲ外ニツナキ  
 置キ、先ツ拱壁ヲ執リテ、命ヲ傳ヘ行フ、左レハ壁拱至リテ貴キ者ナレバ、三公ノ跪キ  
 テ自然ノ道ヲ天子ニ進メ行ハシムルヨリ大切貴重ナルヲ無シ、自然ノ道ノ他物ニ勝  
 リテ重キヲ言フ、』拱壁駟馬ニ先ツノ贈モノハ、美ナルモ、天子ヲ立テ、三公ヲ置キ  
 テ斯道ヲ行フノ美ニ如カサルナリトテ、拱壁ヲ陪客ニシテ、自然ノ道ノ美ナルヲ見ハ  
 ス爲メニ中間ニ拱壁ノ句ヲ置キシ迄ノ事ナレハ、讀ムモノ拱壁ノ句ニ拘泥スル勿レ

古之所以貴此道者何不以求得。有罪以免耶故爲天下貴。○以求得一

得<sub>レ</sub>コ作ル是<sub>レ</sub>似タリ○不<sub>レ</sub>曰ハ詩  
不<sub>レ</sub>云ト言フノ類ニテ、重ク視勿<sub>レ</sub>

○斯クノ如ク、古ノ聖人、合璧駟馬ヨリモ、道ヲ貴重スルモノハ、他ナシ蓋シ世ノ事ハ、  
求メテ得ヘカラス、富貴ヲ求ムルモ、容易<sub>ニ</sub>得ヘカラス、才能ヲ求ムルモ、俄カニ來ス  
一能ハサルニ、道ハ自然ノ物故ニ、我身<sub>ニ</sub>具<sub>ニ</sub>得<sub>レ</sub>ハ之ヲ求メテ得サル<sub>レ</sub>無シ、又有  
罪者モ目カ悟ムレハ、自然ト道ニ歸シ、善人ト爲ル、斯ク道ハ大切ナルモノ故ニ、天下  
ノ貴キヲ占メ所謂萬物之奧タル所以ナリト、『孟子曰、求則得<sub>レ</sub>之、孔子曰爲<sub>レ</sub>仁由<sub>レ</sub>己  
由<sub>レ</sub>人乎ト道ハ我<sub>ニ</sub>具<sub>ニ</sub>ハリ、我モ萬物ト同様ニ、道ハ一分子ナレハ、一念ト雖モ道ニ背  
ケハ惡ト爲リ、一念ト雖モ、之ヲ改ムレハ、善ト爲ル、故ニ孟子又曰ヘルアリ、西子蒙<sub>ニ</sub>  
不潔<sub>ニ</sub>則人皆掩<sub>レ</sub>鼻而過<sub>レ</sub>之雖<sub>レ</sub>有<sub>ニ</sub>惡人<sub>ニ</sub>齊戒沐浴則<sub>レ</sub>可以祀<sub>ニ</sub>上帝<sub>ト</sub>ハ、是道ヲ悟ルト  
悟ラサルトノ謂ヒナリ、道豈<sub>ニ</sub>人ヲ棄<sub>ニ</sub>ヤ、人道ノ貴キ、萬物吾<sub>ニ</sub>具<sub>ニ</sub>ハル<sub>レ</sub>知リ勉<sub>メ</sub>  
サヘケンヤ、勉<sub>メ</sub>ハ賢愚善不善ノ別無、是之ヲ得ル<sub>レ</sub>、物ヲ獲<sub>ニ</sub>探<sub>ニ</sub>ル<sub>レ</sub>カ如シ、

六十三章

主意 前章ヲ承ケテ、チハ奥深ク、目<sub>ニ</sub>見<sub>ヘ</sub>サレ<sub>レ</sub>、是程貴キモノハ無シ、然シ、決<sub>シ</sub>  
テ奇異ノ物ニアラス、全ク無爲自然ノ物ナリ、無爲、無事、無味ノ、文字主意ヲ見<sub>ハ</sub>  
セリ、○德清曰、此ハ聖人道ニ入ルノ要妙ヲ言ヒ、人<sub>ニ</sub>示<sub>ス</sub>ニ、眞切ノ工夫ヲ以テス  
ルナリ、凡ソ有<sub>レ</sub>爲<sub>ト</sub>ハ、智巧ヲ謂ヒ有<sub>レ</sub>事<sub>ト</sub>ハ、功業ヲ謂ヒ有<sub>レ</sub>味<sub>ト</sub>ハ、功名利慾

爲無爲事無事味無味大小多少。報怨以德。

○夫<sub>レ</sub>聖人ハ、道ヲ離<sub>レ</sub>サル故ニ、其心公平ニシ、私ヲ爲ス無シ、故ニ其心萬方ニ遍カラ  
サルナシ、前章無<sub>レ</sub>爲<sub>ニ</sub>而後無<sub>ニ</sub>不<sub>レ</sub>爲<sub>ニ</sub>ノ意ナリ、又其心公平無私ナル故ニ、事ヲ行フニモ  
肯テ痕迹ヲ見ハスナシ、所謂無<sub>レ</sub>所<sub>レ</sub>事<sub>ニ</sub>於<sub>レ</sub>事<sub>ニ</sub>而後能<sub>レ</sub>集<sub>ニ</sub>其事<sub>ト</sub>ノ謂ヒナリ、之ヲ詳カニ  
物ヲ味フニ、譬<sub>ヘ</sub>ハ五味ノ味ヒ忘<sub>レ</sub>テ、一方<sub>ヲ</sub>ノミ嗜マサルモノコソ、眞<sub>ニ</sub>能<sub>ク</sub>五味  
ノ味ヲ分ツナリ、其ノ如クニ、我カ爲ス<sub>ニ</sub>私意私智ヲ用<sub>ハ</sub>サル故ニ、事ノ成ラサル  
ト云フ<sub>ニ</sub>無シ、我心既<sub>ニ</sub>公平<sub>ニ</sub>シテ、彼成均一ナルヲ以テ、勢ヒノ強弱、物ノ貧富多少  
ヲモ平等<sub>ニ</sub>見<sub>ス</sub>、故ニ假令<sub>ニ</sub>人ヨリ我ヲ怨ム<sub>レ</sub>トモ、我心<sub>ニ</sub>愛憎<sub>ノ</sub>念無<sub>キ</sub>ヲ以テ、之  
ニ報<sub>ニ</sub>ユル<sub>ニ</sub>ハ、道徳ヲ以テシテ、自然<sub>ニ</sub>我<sub>ニ</sub>感化歸服セシムルナリ、『蓋シ常人ノ怨ヲ  
懷キ、相傷フハ、畢竟心<sub>ニ</sub>一點<sub>ノ</sub>愛憎アリテ、彼我ヲ分ツ、故ニ他人ノ我ヨリ、勢ヒア  
レハ憎ミ、彼ヲ疎シ<sub>レ</sub>此ヲ愛シテ、遂ニ其怨ヲ引キ起スナリ、故ニ心ノ曇リテ、第一着  
ニ拂ヒ大小多少ノ差ヲ立テサル<sub>レ</sub>第二着<sub>ニ</sub>心得、然ル後<sub>ニ</sub>怨ミヲ忘<sub>ル</sub>、ニ至ル<sub>レ</sub>ナ  
リ、○蘇子曰、聖人爲<sub>ニ</sub>無爲<sub>ニ</sub>故<sub>ニ</sub>爲<sub>ニ</sub>サ、ル所ナシ、事<sub>ニ</sub>無事<sub>ニ</sub>故<sub>ニ</sub>事<sub>ト</sub>セサル所ナシ、  
味<sub>ニ</sub>無味<sub>ニ</sub>故<sub>ニ</sub>味<sub>ハ</sub>サル所ナシ、其大小多少<sub>ニ</sub>道ヲ以テ之ヲ遇スル<sub>レ</sub>ニ、蓋シ人情ノ  
忘<sub>レ</sub>サル所ノモノハ怨ナリ、然<sub>レ</sub>モ愛惡ノ情忘<sub>ル</sub>、ニ及<sub>ン</sub>テハ、則チ怨<sub>ニ</sub>報<sub>ス</sub>ルト雖

モ、猶徳ニ報スル如キナリ、

圖難於其易爲大於其細天下難事必作於易天下大事必作於細

○夫レ以上ノ如ク、道理上ニ反リテ見ルルハ、怨ミモ徳モ無キ、故ニ怨ヲ忘レテ、道德ヲ以テ之ニ報スルナリ、凡テ斯ク本ニ反リ、困難ナルコト未タ作ラサル前、安樂無事ナルヤコ事ヲ爲シ、大事ノ生セサル、細小ノ事ニ處置スルナリ、何トナレハ、天下ノ事變ノ見ル、ハ、平日易キ無事ノ時ニ生スレハナリ、譬ヘハ、一身ノ衛生ヲ爲スモノハ、平生ノ飲食等ニ注意シテ、其度ヲ外レサルハ、決メテ大患ヲ醸ス一無シ、大事件モ其ト同様ニ、固ト平生小事ヲ慎マサルヨリ、生スルコトナレハ、此ヲ知ルコト、大肝要ナリ周易ニ知レ幾其神乎ト、云フモコ、ノコナリ、故ニ聖人ハ平生自然ノ儘ニ爲ス、故ニ大事業ヲモ爲シ得ルナリ、初ヨリ大小多少ニ目ヲ附クルコトナリトテ、下句ヲ起ス、

是以聖人終不爲大。故能爲大。

○聖人終始其大ヲ恃マス、兎角物事ニ扣目ニスル、故ニ能ク其大ヲ爲スナリ、即チ平生注意スル故ニ、能ク天下ノ大ヲ駕馭スルナリ、

夫輕諾必寡信。多易必多難。

○聖人圖ニ難於易ト云ヘテ、決ニ輕易ニ爲ルト云フコト非ラス、唯平易ニ處スルト云フカ

意ニテ、輕易ノ謂ヒコ非ラス、若シ輕易ニ難事ヲ處スルト言フナレハ、譬ヘハ、輕卒ニ人ニ事ヲ請合ヒ、早合點スルモノ、信實少シト同然ニテ、事ヲ處スルニ輕易卒略ナルハ、必ラス難事益々生シテ、制スル能ハサルナリ、故ニ聖人ハ平日ノ注意ヲ決シテ、輕卒ニセサルナリトテ、下句ヲ呼ヒ起ス、

是以聖人猶難之故終無難矣。

○以上ノ圖ヲ以テ、聖人ハ、無事ノ時モ、有事ノ日ト同様ニ、萬事萬端ニ、注意ヲ加ヘ戰々恐々タル故ニ、終ニ困難ノ生スル事ハ無シ、是ヲ圖ニ難於易ト言フナリトテ、起首無爲ノ句ニ呼應スルナリ、○希逸曰、前キニ易シト言フヲ恐ラクハ、世人輕易ノ心ヲ以テ之ヲ視ン、故ニ夫輕諾云々ノ句ヲ以テ轉轉ノ曰ク、易キハ輕易ノ易ニ非ス、聖人猶ホ難キ心ヲ以テ事ヲ處ス況ンヤ他人ヲヤト言フ心ハ、蓋シ謂フ前キニ易ト言フハ無爲無事ニシテ行ヒ易シノ謂フノ意ニテ、輕易ヲ以テ易トスルコトアラスト、○吳子曰之ヲ其易、細ノ始ノニ圖ルルハ則チ其終リ難ニ至ラサルヘシ、馴レテ大ニ至リテ心ヲ勞セス力ヲ勞セサルヘシ、能ク無爲ナル所以ナリ、若シ早ク圖ラヌ、急ニ之ヲ其始メニ爲ストキハ、其終リヤ易キモノ、漸ク難ク、細ナルモノ大ナリ、心力俱ニ困ミ無爲其得ヘケンヤ、

六十四章



主意

是レ必竟、前意ヲ説キ重テシニ過キサルノミ、無爲ノ二字重シ、○德清曰上章

圖ニ難千易ニ爲ニ大千細ノ意ヲ釋シ、以テ聖人ノ要妙ヲ示ス唯人ノ爲サ、ル所ヲ爲スハ在リテ、以テ道ヲ學フノ捷徑ト爲スナリト、

其安易持。其未兆易謀。

○一身ナリ、國家ナリ、無事平生ノトキニ、意ヲ用ヒナハ、維持シ易シ、又一身ナレハ病氣ノ所ナリ、國家ナレハ、亂ナリ、其疾ヤ其爭亂ノ未タ兆レサルトキニ、目ヲ注キテ、豫メ用心スルトキハ、謀リ易シキナリ、前章圖ニ難千易ノ意ナリ、○王曰其安シテ危キヲ忘レス、之ヲ持シテ、亡チ忘レス之ヲ無事ノ勢ニ圖ル、故ニ易シト曰フト

其脆易泮。其微易散。

○物ノ柔ナルモノハ解ケ易ク、微小ナル物ハ、散シ易シ、譬ヘハ氷ノ未タ凝固セサル所ハ打タストモ、破レ易ケレ其已ニ堅ク氷ルニ及ヒテハ難シト同様ニ、事ヲ未タ有ラサル前ニ治メ、亂ヲ未タ亂レサル前ニ慮カルナリ、

合抱之木。生於毫末。九層之臺起於累土。千里之行始於足下。

○夫レ兩手ヲ以テ抱キカ、ヘル程ノ大ナル樹木モ、其始メハ、毫末微小ノ嫩芽ヨリ次第ニ發達シテ、斯ク合抱ノ勢ヲ爲スナリ、九階モ積ミ層メル高臺ハ、其築クニ必ラス、一實

ノ土ヨリシテ始マリ、千里ノ行モ、必ラス足ヲ發スルヨリシテ始マルモノナレハ、終リテ慎ミテ、微チ除キ微チ慎ミテ亂チ除クヘシ、

爲者敗之執者失之是以聖人。無爲故無敗。無執故無失。民之從事。常於幾成而敗之慎終如始則無敗事。

○是故ニ、聖人ハ事ノ生セサル前ニ、注意ヲスル故ニ、何時モ無爲安樂コシテ、失敗セサルナリ、然ルニ俗人ハ、自然ニ任セス、智慧立シテ、色々ノ事ヲ爲ス故失敗セリ、尙又爲サテ一方ニ凝リ固メテ、免角自然ニ逆フ故ニ事ヲ失ヘリ、聖人ハ自然ノ儘ニ、事ヲ處シ、己レノ意ヲ執リテ、事ヲ處スルコトナキ故ニ、失敗セサルモ、常人ノ事ヲ處スルハ、常ニ事ノ始メニ於テセス、事ノ大ナルニ於テ、躁心擾々スル故ニ、之ヲ遂クル能ハサルナリ、終リテ始メニ慎ミ、事ノ生セサル前ニ、注意セハ決シテ、心ヲ諫カス事ナク亦失敗ヲ取ルコト無シ、然ラハ始メニ慎ムノ工夫ハ、如何トテ下句ヲ引キ起ス、

是以聖人欲不欲。不貴難得之貨。

○天下大變ノ生スルハ、細事ヨリ生スルノ幾アリ、人互ニ慾ヲ恣ニスル、故ニ爭亂作レリ、金錢財寶ヲ貴フ故ニ盜賊行ハル、金錢財寶ノ如キモノナリ、珍異奇物ノ求メ難キヲ求メサレハ、天下自ラ盜賊徘徊スル無、故ニ我慾心ヲ薄ニスル所ナリ、彼亦我ニ逆ハ

ス、故ニ聖人ハ慾心ハ微ナリト雖モ、争ノ元因ト爲ル故ニ、欲ヲ輕センコトヲ欲シテ、得難キ貨財ヲトシテ欲シテ、之ヲ貴重セサルナリ、皆是レ事ノ生セサル前ニ注意ヲ致シテ始メテ心配スル故ヲ以テナリ、

學不學復衆人之所過以輔萬物之自然而不敢爲。○輔ノ字韓非子ニ作ノ字ニ作ル可ナリ○過ハ常人

ノ打乗テ、願ミサル所ナリ

○聖人シテ常人ノ學問ノ及ハサル所ヲ學ヒ、又衆人ノ通り過キシ處ヲ元ニ戻シテ、扣目ヨスルナリ、譬ヘハ盜賊ノ作ルハ、財ヲ貴フカ爲メナル故ニ、平生財ヲ嗜ムノ欲ヲ輕スルト謂フヤウシ、常人ノ研求シ及ハサル所ニ、研究スルナリ、大事ハ固ヨリ小事ノ結果ナルコト、常人ハ兎角小事ハ打遣ルナリ、聖人ハ小人ノ打遣ル小事ノ處ニ注意シテ、大事ノ生スルヲ戒ム、故ニ大事生セサルナリ、斯ク小ヨリ大ニ至ルハ、自然ノ理ナル故ニ聖人ハ、萬物自然ノ理ニ從フテ、事ヲ處シ、敢テ自然ニ逆フテ、智慧立スルヤウノ事ヲ爲サ、ルナリト、○吳子曰、聖人ノ欲ハ、不レ欲ヲ以テ、欲ト爲ス、聖人ノ學ハ、不レ學ヲ以テ學ト爲ス、難レ得之貨ハ、人ノ欲スル所ノ者ナリ、然ルニ之ヲ貴重セサルハ、是レ人ノ欲スル所ヲ欲セサルナリ、故ニ欲不レ欲ト曰フ、衆人ノ趨ル所ハ、我則チ趨ラサルナリ、衆人臂ヲ掉フテ過キテ願ミス、我則チ其處ニ還リ復ル、是人ノ學フ所

ヲ學ヒサルナリ、故ニ學不レ學ト曰フ、凡ソ此ノ不欲不學ノ者ハ、蓋シ萬物ノ理ハ、無爲ニシテ自然ナルヲ以テ、故ニ吾亦無爲ニシテ、萬物ト同一自然ナリ、輔ノ輪輻ニ於ケル、相依附シテ、一ト爲ルカ如キナリ、章首無爲ヲ言フ、章末ハ自然ニシテ、敢爲サルヲ言フ、此ノ一章ノ意相始終セリト、

六十五章

主意 古ノ聖人ノ國家天下ヲ治ムルノ要妙ナルモノハ、當サニ樸實自然ヲ以テ根本ト爲シ、智ヲ以テ民ニ誇ラサルナルヘシト、愚ト曰ヒ、玄徳ト曰ヒ、大順ト曰ヒ皆樸實自然ノ形容ナリ、

古之善爲道者非以明民將以愚之。○愚ハ論語ニ其愚不可及ト云フノ意ニテ狡黠ナラサルヲ謂フ

○古ノ善ク民ヲ爲ムルモノハ、民ノ智慧ヲ明カコシ、無暗入鑑ニ、理屈ヲ言ハセル様ニスルコトアヲサルナリ、兎角人民ヲシテ、其分限ニ安ンシサセテ、本業外ニ、愚智慧ヲ廻サ、ル様ニ、至極純朴ト爲サシメントスルコトアリ、○王曰、明ハ多ク巧詐ニシテ、其樸ヲ蔽フヲ見ルナリ、○吳子曰、知ル所アルヲ明ト爲ス、知ル所無キヲ愚ト爲ス、古ノ聖人巴レノ徳ヲ明ラカコシテ、以テ民徳ヲ明ラカニス、亦民ノ愚者モ、明ニ進ミテ知ル所アラフヲ欲スルナリ、惟其愚ニシテ之ヲシテ、知ラシムル能ハス其明ヲ欲セスシテ固ヨリ、其愚ヲ欲スルコト非ラス、老子衰世ニ生レ、上古無爲ニシテ治マリ、其民淳樸ニ

シテ知ル無ク、後世ハ爲スアリテ其民澆偽而知ルアルヲ見ルナリ、善ク道ヲ爲ムルモノハ、民ヲ化シテ淳樸ト爲シ、之ヲシテ愚ナラシムルヲ欲スルコト非ラス、此憤レ世矯レ枉ノ論、其流ノ弊、則チ秦ノ經書ヲ燬キ以テ黔首ヲ愚ニスルコトヲ爲スナリト、

民之難治以其智多

○斯クノ如ク、上古ノ聖人ノ民ニ於ケル、明チ欲セスシテ、愚チ欲スル所以ノモノハ、兎角人民ノ惡智慧ヲ以テ、互ニ相欺キ、遂ニ政化ヲ亂タスヲ以テナリ、所謂生兵法ハ、大疵ノ基ト俚俗ノ言フ如ク、少シ小才アルモノハ、其業ヲ安セス、巧詐ノ事ノミコ心チ寄セテ、世間ヲ揺キ廻ハスモノナリ、是ヲ以テ、質朴淳素ノ風、散シテ唯法網ノミチ潜ルコト汲々スルニ至ルヲ以テ、人民ヲシテ、小才智アラフシメテ淳質ノ風ヲ喪ハンヨリハ、率ヨク朴愚其外ニ馳セサラシムルコト肝要ナリ、○王曰吾レ智ヲ以テ、人ヲ御スレハ人亦智ヲ以テ之ニ應ス、而シテ上下交モク相賊フニ至ルナリ、○吳子曰法出姦生令下リテ詐起ルト、

以智治國國之賊

○以上ノ釋故ニ、聖人ハ其心チ公平無私ニシテ、自然ニ任セ、天下ヲ治メ敢テ、私意私智ヲ弄セサルナリ、若シ然ラズシテ、智慧立チ以テ、天下ニ蒞ムルハ、民亦智慧ヲ用ヒテ

巧ミ事ヲ爲スルニ、愈々國家ヲ統一スル能ニサルニ至ルナリ、故ニ之ヲ上下交モク相賊ト云フトテ、下句チ引起セリ、

不以智治國國之禍

○是故ニ智慧術數ヲ以テ、天下ニ蒞マス、無爲自然ニ任セテ、純朴ナルキハ、民亦純朴ニ其本業ヲ守ルヲ以テ、國家安福ナリ、

知此兩者亦楷式 ○楷ハ法ナリ模楷トシテ之ニ效ヒ法ルヲ言フ

○智チ以テ天下ニ蒞マメハ、禍ヒ作り、智チ用サレハ、國家無事ニ治マルノ兩儀チ知リテ、智チ用ヒス純朴無爲ニ化スル方チ、楷梯トシテ、天下ニ蒞ムヘシ、○楷字一本楷ノ字ニ作ル

常知楷式。是謂立德。

○故ニ天下ニ蒞ムモノハ、終始間斷ナク、無爲自然ノ天下ニ於テハ、法則ト爲スヘキチ知リテ、之ヲ施行スルチ虛無自然立靈ノ道チ得ルト名ツク、

立德。深矣。遠矣。與物反矣。乃至大順。

○玄妙ノ道ハ至リテ深遠ナル故ニ、世ノ中ノ物トハ一寸見レハ、反對ニ出テ、愚ナル如クニ見ヘテ、俗人ノ無味澹泊ナルモノトシテ、願ミサルモノナレト、其實ハ然ラス、

俗人ト反對ニ立チテ、小智小才ヲ弄セサル處カ、既ニ自然ノ大順當ナル道ニ稱ヒテ、國家ヲ安穩ニ治メルナリ、○王注ニ與物反ヲ解シテ、自分ト萬物ト共ニ、均シク眞朴ノ道ニ復ルト爲セ、愚ハ從ハス、何トナレハ、此章智愚相比較シテ、反對ノ狀ヲ並ヘテ、無爲ノ化ヲ楷式セシメントスルノ主意ナレハ、文理上ニ徴シテモ、反復ノ反ト見ヘ神カラス、○吳子曰、反ハ逆フナリ、相逆ハサルハ順ナリ、物ト相順フテ以テ順ト爲スニ足ラス、相逆ハ不順ト雖モ、廻子順ノ大タル所以ナリ、故ニ玄妙深遠ニシテ測ルヘカラサルノ徳ヲ爲メナト、○司馬曰物情智ヲ貴フモ、立徳アルモノ獨之ヲ踐ミ道ニ順フ之ヲ與物反矣。乃至三子大順ト云フ、

六十六章

主意

人ニ争ハス先ンセサルヲ以テノ故ニ、能ク天下ノ主ト爲ルヲ言フ、○徳清曰、此章ハ天下ニ君タルモノハ、無我ノ徳ヲ以テノ故ニ、天下之ニ皈スル水ノ下ニ就クカ如キヲ教フルナリト、

江海所以能爲百谷王者以其善下之故能爲百谷王。

○江海ノ能ク百川ノ王タル所以ノモノハ、自ラ卑ニ居リテ、百谷ノ上ニアラサルヲ以テノ故ニ、百川ノ水、滾々トシテ、江海ニ歸スルナリ、故ニ人ハ兎角下出ニ爲リ、自ラ高アラザレハ、必ラス人ノ上ト爲ルト、聖人ノ謙虛ニシテ物ニ接スルニ喩フ前章自後者

人先之ノ意ナリ

是以聖人欲上民。必以言下之。欲先民必以身後之。

○聖人ノ人上ニ位スルヤ、言路ヲ相通シ、愚夫愚婦ノ言ヲモ、聞クヘキモノト爲ス様ニ、言簡ノ上ニ於テモ、下人民ト其通達スルルハ、其位ヲ喪フテ、下ニ坐セテハナラズト育フ様ノヲ無シ、書曰、俞允如茲、嘉言無攸伏野無遺。萬邦咸寧。ト是意ナリ、又下民ノ言ニ己ヲ棄テ從フト云フ様ニ、我高位アルヲ恃ミテ輿論ニ逆ハス、民ノ下手ト爲ル故、其貴キ位ヲ失ハサルナリ、猶江海下ト在リテ、而ル後百川ノ之ニ赴クカ如シ、孟子所謂善與人トハ亦是意ナリ、蓋シ聖人ハ、人ノ上ト爲リ、人ノ先ト爲ラント欲シテ、然ルニアラス、欲シ上欲シ先ト言フハ、文ノ揚抑ナレハ、讀者詞ヲ以テ意ヲ害スル勿レ、蓋シ源順朝ハ將士ヲ呼フニ名言ハスシテ善ク下レリ、頼家悉名言フ、是レ一小事ト雖モ、言ノ下ルト下ラサルトノ結果ヲ見ルヘシ、夫レ言ハ心ノ畫ナリ、言ニ依リテ、其心ヲ見ルヘシ、頼朝將士ヲ愛スルノ心アリテコソ、名言ハサルナリ、故ニ克ク大業ヲ創ム、頼家之ヲ輕ニスル心アリ、故ニ名言ヘリ、其優劣存亡、既ニ此ニ分ツ、故ニ聖人卑下、言ヲ兼ニ稽ヘテ、能ク天下ノ先ヲ占ムル所以ノモノ、亦頼家父子ニ徴シテ知

是以聖人處上而不重。處前而不害。是以天下樂推而不厭。以其不爭故

天下莫能與之爭。○重ハ物ノ上ヨリナシツ

○以上ノ如ク謙虛卑下ナル故ニ、假令上ニ居ルトモ、下民ノ己レヲ虐待壓服スルモノト

爲シテ、我ヲ恐ルノ様ノヲ無ク天下舉ツテ皆之ヲ推尊シテ厭ハサルモノハ、聖人鬼

角扣目ニシテ、民ト爭ハサル故ニ、天下皆之ト爭フモノ莫キナリ、○是聖ノ字、一章ニ

三ツアルハ、猶周易繫辭ノ一章ニ是故ノ二字ヲ數多用サルト同然ナリ、○或曰不レ重

ハ重キ物ノ頭上ニアルモ重シトセズ、無キカ如クニ念フナリ、推レ之ハ推レ出スナリ

已ンノ後ニ居ル人ヲ推レ、出ス如ク君ヲ尊フナリト

六十七章

主意 兵ヲ用非ルヲ假リテ、自然ノ道ヲ明カス、慈儉不先ノ文字、尤モ重シ五十九章

治レ人事天莫如レ畜ト同意、

天下皆謂戒道大似不肖。夫唯大。故似不肖。若肖。久矣其細也夫。

○以上ノ如ク、聖人物事下出ニ立チテ、民ト爭ハサルヲ以テノ故ニ、天下ノ人皆我道ヲ

以テ通常ノ物ニ似サルト、見做セリ、俗眼ヨリ見レハ、左コソアルヘシ、元來我道ハ、

曠然形ノ見ルヘキ、莫ク恍乎名ノ稱スヘキナク、萬物ニ行キ亘リテ、居ル故ニ、通常ノ

物ノ比スヘキナク、貴フヘキナク、天上天下唯我獨尊ノモノナレハ、其不肖ト云フハ

尤ナリ、左レモ我道ニシテ、物ニ喩ヘ比スヘケレハ、物ト同様ニイツモ、細小ニ滅亡

スルヲアラフ、其大ニシテ、物ノ類似スヘキモノ無キ故ニ、我道ヲ守ルモノハ下ニ居

レモ、江海ノ百川ヨリ尊チ受クルカ如クニ、其尊キヲ失ハサル所以ナリト此節、上章

ニ屬シテ解スヘシ、然ラサレハ文章氣脈連絡スル無シ夫我有三寶ニヨリ以下六十七

章ト見做スヘシ、○吳子曰、不肖ハ肖似スル所無キナリ、疑ラレハ殆ト能シスル所無

キカ如シ、道大似不肖トハ、猶連巷黨ノ人、孔子ヲ大ニシテ名ヲ成ス無シト、嘲ケル

ト、一般ナリ蓋シ惟大ニシテ名ツヘキナシ、故ニ不肖ニ似タルナリト、○林子曰夫レ

老子ハ乃チ孔子ノ從フテ以テ、禮ヲ問フ所ノモノナリ、孔子曰吾今見老子其猶龍乎

ト、豈ニ周ノ季真ニ老子ヲ以テ不肖ト爲スヲアルカ、下士ハ道ヲ聞キテ、大ニ之ヲ笑

フ、然ラハ老子ヲ以テ不肖ト爲スコト亦宜ナラスヤ

夫我有三寶持而保之。一曰慈。二曰儉。三曰敢爲天下先。

○夫レ我老子ノ道ニ於テ、三ツノ寶トシテ、保尊スヘキモノアリ乃チ自然ニ物ヲ大切ニ

シテ愛スルヲ第一ニアリ、又平生驕ラス矜ラス、儉約スル事、第二番ナリ、又物事下モ

出ニ立テ卑下謙讓スルナリ、此ノ三ツノモノコソ、大肝要ノモノナレハ、今之ヲ以下

ニ説明カントテ、下句ノ張本ヲ爲ス、

慈故能勇。

○今三寶中ノ、慈ノ德ヲ述ヘンニ、今世ノモノ、慈仁ハ勇無キト爲シ賤メトモ、其實然

ラス、世ノ所謂勇ナルモノハ、中途ニシテ、折ケ柔弱ニ流ルコトアルモ、慈ノ徳能ク勇  
 ナ有スルハ、之ヲ一身ニ喩フレハ、眞ニ克ク一身ヲ養フモノハ、平生其飲食ニ注意ヲ  
 加フル故ニ、老年ニ至リテモ、其勇衰ヘス、母能ク子ヲ養フ故ニ、子ノ父母ニ於ケル、  
 已レノ力ヲ盡シテ孝養セリ、將能ク士卒ヲ慈愛ス、士卒ノ力ヲ致シ死スト雖モ、顧ミ  
 サレアリ、徳ニ大勇ノ基因ハ、慈愛ノ徳ニアレハ、人必ラス慈ノ能ク勇ヲ生スルコト  
 ナ知リテ、是ヲ忘ルヘカラストテ、三寶ノ中ノ一ト爲シ以テ世人ヲシテ、勇ヲ務ムル  
 勿ク、以テ慈忍ノ徳ヲ養ハシム、○韓非子曰子ヲ愛スルモノハ、子ニ慈アリ、生ヲ重ン  
 スルモ、ハ、身ニ慈アリ、功ヲ貴フモノ事ニ慈アリ、慈母ノ弱子ニ於ケルヤ、務メテ其  
 福ヲ致ス務メテ、其福ヲ致セハ、則チ其禍ヲ除ク事トス、其禍ヲ除ク事トスレハ  
 則チ思慮熟ス、思慮熟セハ、則チ事理ヲ得、事理ヲ得レハ、則チ必ラス、功ヲ成ス、必ラ  
 ス功ヲ成セハ、則チ其之ヲ行フヤ疑ハス、疑ハサル之ヲ勇ト謂フ、聖人ノ萬事ニ於ケ  
 ルヤ盡ク慈母ノ弱子ノ慮リヲ爲スカ如シ、故ニ必ラス、行ハルノ道ヲ見ル、必ラス行  
 ハルノ道ヲ見ルキハ、則チ明カナリ、其事ニ從フモ、亦疑ハス、疑ハサル之ヲ勇ト云フ  
 疑ハサルハ慈リ生ス、故ニ曰慈アリト、

儉故能廣。

○夫レ廣ク物ヲ施サント欲セハ、必ラス多ク貯ヘサルヘカラス、必ラス多ク貯ヘントセ

ハ、平生儉約セサルヘカラス、故ニ儉能ク廣ク物ヲ濟フト云ヘリ、然ルニ、世人儉約  
 ナ以テ、陋ナル事ト思フ、然レモ、廣大ニ物ヲ施サントスレハ、必ラス施シテ爲ス物無  
 クテハ、如何程財寶ヲ蓄フトモ、消滅シ易シ、故ニ世人ノ儉約ハ物ヲ蓋フニ足ラスト  
 テ、顧ミサルハ畢竟廣ク事ニ應スル材料ヲ作ル事ヲ知ラサルナリ、夫レ海ノ水ハ、其  
 貯ヘ廣シ、深シ、其能ク之ヲ爲スモノハ、一點水ノ儉約ナルヨリ生スルナリ、春ノ萬  
 物ヲ開發スルハ、冬ノ閉藏アルヲ以テナリ、然ラハ儉ノ徳コソ、無盡藏トモ言ツヘキ、  
 重寶ナリ、俗人之ヲ知ラス、一時志ヲ得ハ、濫リニ土木興造ヲ事トシ、驕リヲ窮メ、  
 忽チ倉廩府庫ノ財ヲ糜シ、遂ニ天下ト共ニ斃ルモノ多シ、是儉ノ何物タルヲ知ラサレ  
 ハ、昔シ楚子背テ重耳ヲ稱シ、曰ク其志シ廣大ニシテ体儉ナリト、蓋重耳ノ風采、兎角  
 扣目ニシテ、節制アル故ニ、天下ノ大ヲ得ルナリ、若シ其廣大ノ志シノミニ任セテ、事  
 ナ爲ストキハ、到底窮ト爲ルニ能ハサルナリ、○儉ハ必ラスシモ、財物ヲ儉制スルノ  
 ミナ言フニ非ラス、我心止ニ就キテモ言フ、○希逸曰、儉ハ収斂也、廣ハ開豁ナリト、  
 希逸ハ皆心止ニ就キテ見レモ、然シ廣ク財物ヲ兼テ講スル是ナリ、

不敢爲天下先故能成器長。

○韓非子ニ能ノ字下爲ノ字アリ、是ナ  
 ○聖人ハ卑下謙虛ニシテ、敢テ人ノ上ハ手ニ出テス、故ニ能ク、天下有形物ノ長ト爲リ、  
 天下ニ推尊セラルナリ、前章江海爲三百谷王ト同意ナリ、成器ハ形ヲ成ス者ト云フ

トコテ、天下萬物ヲ指ス、○林希逸曰成器ハ即チ成形ナリ、凡ソ地上形チヲ爲セルモノヲ云フ、

今舍慈且勇。舍儉且廣。舍後且先。死矣。

○慈ノ猶ハ以上ニ述フルカ如ク、勇ヲ生ミ出スノ母ナルコ、然ルニ慈ノ德ヲ棄テ、勇ナラント欲ス、是シ暴虎馮河ノ勇ニシテ、永續スル能ハス、喻ヘハ、士卒ノ我カ爲メニ勤ク所以メモノハ、平生慈愛ヲ加フレハナリ、然ルニ之ヲ平生虐待スルハ、一朝事アルニ及ヒテ、何ソ我ノ働キヲ爲サン、還ツテ兵ヲ反シ、我ニ抗センノミ、廣ク施シ事ニ應シ得ル材料ハ、儉徳ヨリ生ミ出セリ、然ルニ、唯一時廣ク施スモ、材料盡クレハ施シ得サルナリ、亦何如ニ志シハ、天下ニアルトモ、儉制収斂ヲ以テ事ヲ處セサルハ兎角奢驕驕逸ニ流レ、其望ヲ達スルコト能ハサルナリ、又天下ノ主ト爲リテ、人ニ先ンセントセハ必ラス、能ク謙虛衆言ヲ容レ人ニ下ルニアラサルレハ、到底其意ヲ達スル能ハサルナリ、何トナレハ天下ハ、一人ノ能ク維持スヘキニ非ス、衆力ニ由リテ、維持スヘケレハナリ、然ルニ、今人徒ラ人ニ驕リテ下ルヲ欲セス威力ヲ以テ天下ヲ壓當セントセリ是レ桀紂幽厲ト同様ニ死スルモ、決シテ其意ヲ達スル能ハサルナリ、故コ人ハ、三寶ノ貴キヲ知ラサルヘカラストテ、下句ニ接續シテ、其意ヲ演繹セリ、○按スルニ、本文ノ且字ヲ王注ハ、取ルノ字ト、同様ニ見做シテ解スレバ、余ハ將ノ字ト、同

様ニ解シテ、王注ニ從ハサルナリ、

夫慈以戰則勝。以守則固。

○今三寶ノ一位ニ當レル、慈ノ徳ヲ今日世人好ム所ノ戰ヒ上ニ就キテ、其功能ヲ述ヘハ平生將帥ノ士卒ヲ、慈愛セルカ爲メニ、一朝戰ヒテ起シ、敵國ト兵刃ヲ交フルハ、皆其恩ニ感シテ(身命ヲ忘レテ戰フ故コ、必ラス勝利ヲ得ルナリ、又我國ヲ固メ守ルハモ、同様ニ決シテ敵兵ヲシテ亂入セシムル杯ノヤウナル事ハ無シ、劉玄德ノ曹操ニ敵シ、補氏ノ足利ノ兵ヲ防クカ如キハ、皆此ノ徳ヲ以テナリ、

天將救之。以慈衛之。

○戰ノ一端ヲ以テ言フモ、慈ノ徳ノ、効能アル疑フヘカラス、然ラハ斯徳ヲ行フキニハ、天ノ人ニ勢ヒテ與ヘテ、援ケケレルヤウニ物ノ成就スルハ、己レ慈ノ徳ヲ離レズ、忘レズ失ハスシテ、終始同様ニ守護スレハコソ、天意ニ叶ヒテ、其ノ輔ケヲ得ルナリトテ、慈ノ一方ニ就テ論シ結ヒテ、外カノ二徳ヲ此ニ述ヘサルハ、他ハ皆慈ノ徳中ニ、含メハ言ハストモ、第一ニ慈ノ方ニ注意スキノ意ヲ示セリ、蓋シ老子ノ道ハ、虚心無爲ヲ主トシテ、論スルニ、此ニ獨リ、慈ト云フハ、其意ヲ異ニスル如ク思ハルレバ、左ニ非ラス、此章ノ慈ハ其所謂自然ノ愛コト人ノ子ヲ愛スル如ク、眞意ヨリ慈愛スル氣

持ナリ、仁ト云へハ少シ、人爲ニ巨ル氣味アルヲ以テ、慈ノ字テ下セリ、其慈ノ意ハ自然の愛ヲ、決シテ作爲ニ出シルニアラサレハ、讀者怪ム勿レ、○希逸曰、救ノ字ハ祐助ナリ、衛ハ自ラ其身ヲ守ルナリ、能ク慈ヲ以テ守ルハ、天ノ祐クル所ナリ、此句隱然今ノ人ノ之ヲ能クセハルヲ譏リ責ムルナリ、能クスルモノハ、天其衷ヲ誘メ、能クセサルモノハ、天ノカ鑑ヲ奪フ、○吳子曰慈ナルモノハ、人々之ヲ親ム、父母ノ如シ、豈ニ子コシテ眞父母ニ敵スルアランヤ、故ニ慈ヲ以テ戰守セハ、人々敵トシテ抗スルニ忍ヒサル、故ニ能ク勝ツナリ、能ク固ムルナリ、縱令敵ノ來リ攻ムルアルモ、其父母ヲ助クルモノ多シ、亦必ラス、能ク勝ツナリ、能ク固ムルナリ、或ハ人カ速ハサルモ、天亦將サコ之ヲ救ヒ助ケントシ、其チシテ敗レ且ツ潰ヘシメス、天ノ克ク之ヲ救助スル所以ノモノハ、其能ク慈コシテ之ヲ衛護スルヲ以テナリ、曹操符堅ノ吞噬厭ク無キハ、不慈ノ甚シキナリ、吳普能ク聖人ノ慈ノ如キコアラスト雖モ、其寇ヲ禦クヤ已クヲ得スシテ之ニ應ス、之ヲ曹符ニ比スレハ、則チ此レ彼レヨリ善シ、亦慈ニ近キモノ、赤壁ノ風火勢ヒ順ニシテ、北船燬ケ青岡ノ風鶴ノ聲聞ヘテ、兵衆奔ル、吳普弱ト雖モ、曹符百萬ノ兵ヲ挫ク、是亦天ノ之ヲ救ヘハナリ、

六十八章

主意

前章三賢ノ意ヲ承ケテ、聖人善ク下リテ争ハサルノ功ヲ言フ、

善爲士者不武。

士ノ字ヲ、希逸ハ獄官ト見做シテ解スレモ、愚ハ王注ニ從カヒ、士ノ帥、即チ武士ト解ス、何トナレハ、此章ハ前章ヲ承ケテ、兵ニ就キテ

論スルナレハナリ、

○夫レ兵ノ勇ニシテ武アルモノハ、兎角人ヲ凌キ、矜ルモノナリ、是レ兵ノ敗ル、所以ナリ、故ニ古ノ善ク兵ヲ使フモノハ、假令勇壯活潑ノ氣象アルトモ、其レチ潛メ藏クシテ、外面ニ示ササルナリ、故ニ能ク百萬ノ敵ヲモ挫クナリ、譬ヘハ鷲鳥ノ其搏撃ヲ試ミントスルキハ、先ツ其翼ヲ斂ムル如ク、猫兒ノ平日柔コノ、其威ヲ見ハササル如ク、平日常ニ其武ヲ示ササル故ニ、善ク兵ニ精シキモノ還ツテ、不武ニ似タルナリ、是其實武ナラサルコアラヌ、其理然ラサルヲ得サルヲ以テナリ、

善戰者。不怒。

○聖人ノ心ハ、道ト一ニシテ彼我均一ナルヲ以テ、憤怒ノ心無シ、若シ已ムヲ得スシテ、兵端ヲ開クキニ當リテハ、決シテ常人ノ如ク、其衆ヲ激怒セシメテ、戰フ如キヲ爲サ、ルナリ、何トナレハ、一時衆心激發スルモ、中途ニシテ、其勇挫ケ事ヲ成ス能ハサルヲ以テナリ、袁紹所謂兵怒者ハ敗ルノ故ヲ以テナリ、

善勝敵者。不爭。

○眞ニ戰ヒノ勝ヲ制スルモノハ、吾ハ争ハスシテ、敵ノ争ヒニ勝ツ、何トナレハ、我争ラ



己レノ屍ヲ物色セシメ、家康ノ三形原ニ於テ門ヲ開キ戰ハサルカ如ク、吾爭ハスレテ兵氣ヲ養フレハ、敵ノ勢力自ラ屈スルニ至ル、故ニ古ノ良將ハ爭ハサルヲ以テ、勝チヲ制ス、國家ヲ爲ムル、亦此ノ如シト裏面ニ主意ヲ見ハス、  
**善用人者爲下。**

○人皆相互コ人ノ上ニ立テントスルノ心アリ、故ニ能ク其用ヲ爲ス無シ、眞ニ人ヲ善用ニ立テントセルモノハ、謙虛人ニ下リ、以テ之ヲ敬式ス、管仲ノ齊ニ於ケル、伊尹ノ湯ニ於ケル、孔明ノ蜀ニ於ケル、皆其王ノ謙虛ノ心ヲ慕フテ之カ用ヲ爲ス、  
**是謂不爭之德**

○斯ク人ハ卑下謙讓スルコソ人ト爭ハサル事ナレハ、是ヲ稱シテ爭ハサルノ徳ト云フ、人君一タヒ此徳ヲ具フルレハ、其地小ナルモ所謂文王ハ七十里、湯ハ百里ノ國ヲ以テ天下ヲ握ルコトク、天下萬物皆之ニ歸セサルハナシ、  
**是謂用人之力**

○斯ク爭ハス下手ニ出テ、人ヲ待スルレハ、人皆我カ爲メニ力ヲ、竭シテ我ヲ輔クルヲ以テ、故ニ人ノ力ヲ用サルト謂フナリ、  
**是謂配天**

○夫レ天ハ高キニ位シ、其氣下キニ降リテ、萬物ヲ化成セリ、争ハス卑下謙讓シ徳、即チ天ノ道ト同一ニ配合セルト云フトテ、不爭ノ徳ノ貴重ナルヲ示ス、

**古之極** ○愈極ハ極ノ字ヲ上句ニ屬シ、古ノ字ヲ衍文ト爲シ、天之極ト讀メレ、愚ハ依然成文ノ儘ニ講ス、極ハ至極要道ト言フカ如シ、

○斯ノ不爭ノ徳ヲ守ルレハ、衆我ニ歸服シ、群力皆屈從セル故ニ、天下ニ於テ古ヨリ、以來此ノ至極結構ノ道ニ加フモノ無シトテ、不爭ノ徳コソ、天道自然ニ叶ヘルモノナレハ、人之ヲ務メサルヘケンヤ、ノ意ヲ言外ニ示セリ、

### 六十九章

**主意** 前章不爭ノ徳ヲ承ケテ、其効能ヲ説ク、結末ニ哀者勝、ノ三字ヲ用井、卑近ノ譬喩ヲ見ハシテ、争ハサルノ効アルヲ示ス、○徳清曰此ハ重ネテ、前章不爭ノ徳ヲ明カン以テ上三實ハ慈ヲ以テ本ト爲スノ意ヲ釋スト、

**用兵有言。吾不敢爲主而爲客。不敢進寸而退尺。**

○兵ヲ用井ルモノ、言ヒシヨアリ、我ハ兵ヲ用井ルレハ當リテハ、我ヨリ先ンシテ進ミ行カスシテ、彼ヲシテ先ツ唱ヘシメテ、後ニ我ハ之ニ應スルナリ、又進ムニハ、一寸ト雖モ、輕卒ナルヲ爲サス、退ク方ハ一尺ト雖モ差支ヘ無シト言ヘリ、蓋シ兵ハ凶器ナル故ニ、我主ト爲リテ進マス、客ト爲リテ、扣目ニスルハ、兵ヲ用井ルモノト雖モ、

其心至誠惻也。人ヲ殺スヲ嗜マサルモノナリ、人ヲ殺スヲ嗜マサルハ、即チ慈ニ外カナラス、慈ナル故ニ、敢テ兵ヲ進メシテ客ト爲ルモ、其戰ヒニ勝チヲ制シ得ルナリ、孟子所謂不嗜殺<sub>レ</sub>人者一<sub>ニ</sub>天下ノ意ト同意ナリ、以下兵家ノ此語ヲ借リテ不爭ノ徳ヲ演繹ス。

是謂行無行。攘無臂。仍無敵。執無兵。

○斯ノ兵ヲ進<sub>マ</sub>ス<sub>レ</sub>扣目ニスル故ニ、兵氣自<sub>レ</sub>強マル故ニ、我ハ行カストモ、進<sub>ミ</sub>行ク同様ニ彼ノ氣ヲ挫クナリ、我ハ退クトモ、我疲ツカル故ニ、却ツテ敵ヲ逐フコト、臂ハ無クトモ之ヲ攘ケテ威ヲ示シ逐フト同然ナリ、我ハ彼ヲ引キテ、戰ハサレテ、彼レ敗ルノ故ニ引キテ戰フノ功ヲ取ルナリ、我レハ兵器ヲ執ラサルト同様ニ争ヒ戰ハサレテ、敵兵自<sub>レ</sub>潰ヘ走ル、故ニ兵器ヲ執リテ戰フト同様ノ功ヲ奏セリ、斯クノ如ク扣目ニ争ハサレテ、皆勝チヲ制スレハ、兵家ノ語ハ、畢竟此ノ不爭ノ徳ヲ述ヘシニ外カナラス、然ラバ、争ハサルノ徳コソ、重寶ナリ、然ルニ世人ハ兎角敵ニ争ヒ驕リ勝チヲ制スル能ハサルモノ多シトテ、下句ノ張本ヲ爲ス。

禍莫大于輕敵。輕敵幾喪吾寶。○吾寶ハ前章三寶ヲ指ス。

○進ミテ敵ト争フハ、則チ戰ヲ輕ンスルナリ、戰ヲ輕ンスルハ、人ヲ殺ス<sub>コト</sub>ヲ憚ラザル

モノナリ、然ラバ人ヲ愛スル慈ノ徳ニ背クナリ、慈ノ徳ニ背キテ、戰フ故ニ、輕卒ニミテ戰ヒテ好ムナリ、輕卒ノ戰ヒ何ソ克ク勝チヲ制セン、○吳云未<sub>ダ</sub>進<sub>ミ</sub>戰ハスト雖モ、然レ用一<sub>ク</sub>ハ敵ヲ輕ンスルノ心アルナリ、則チ已ニ人ヲ殺シ寶ヲ喪フノ漸アリ、故ニ重寶ニ吾寶ト曰フト。

故抗兵相加。哀者勝矣。

○故ニ兩敵互ニ兵ヲ舉ケテ、交戦スルトギニハ、必ラス慈心アリテ、人ヲ殺スヲ嗜マズ、死ヲ哀ム、故ニ我兵其恩ニ感動シテ、以テ勇往直進シテ、敵ニ打チ勝ツナリ、其ハ慈ヨリ生ス、慈ハ能ク身命ヲ愛スルナリ、身命ヲ愛スル故ニ、吾主ト爲リテ、戰ハス、戰ハ人ヲ殺スナリ、人ヲ殺スニ忍ヒサルヲ哀ト云フ、慈哀ハ戰ニ於テハ、因循姑息ニ似テ居、其勝ヲ得ル、此ノ如シトテ、世人ノ好ム所ノ戰ヒノ上ニ就キテ、慈ノ徳ノ貴キヲ知ラシム、眞ニ世人慈ノ重キヲ知ラハ、又兵端ヲ開キ相争フ<sub>コト</sub>無シ、是老子大主意ノアル所ナリ。

七十章

主意 物ニ本末輕重アリ、我道ノ本トスル所ハ、即チ無爲自然ナリ、而ルニ世人其本ヲ知ラス、末ニ馳セル故ニ、自然ヲ害スルナリトテ、時ノ我道ヲ知ラサルヲ歎息シテ、○德清曰、此章ハ人ニ立言ノ指ヲ示シ知リテ、之ヲ行ハシメ、其深ク造ク

吾言甚易知。甚易行。天下莫能知莫能行。

○吾レ言フ所ノ言ハ、實ニ早ク分リ易キコトナレド、行ヒ易キコトナレド、天下之ヲ行フモノ無シ、蓋シ吾言ハ、我本心ノ口ニ見ハルモノナリ、起居飲食ハ、我性ノ作用ナリ、豈知レ易カランヤ、言語飲食ノ間ニ於テ、我道ノ本體如何ヲ知ルヘキナレド、其レヲ知ラザルハ、畢竟欲心ノ掩ハレアルヲ以テナリ、

言有宗事有君

○言ハ、道ノ支族ナリ、事ハ道ノ臣下ナリ、夫レ言語ハ聞クヘキモノナレド見ルヘキナシ、然レド、其言語ノ本ハ、皆道ヨリ流レ出ツルモノナルヲ以テ、支族ヲ推セハ其宗家ノ如何知ルヘキナリ、事ハ形迹上ニ見ル、ナレド、見ルヘキモノナレド、其形迹ヲ見ハスモノハ、道ナレド、道ノ臣下ナリ、臣下ニ依リテ推スルハ、道ノ如何、君ノ尊嚴ヲ悟ルヘシ、近シ譬ヘハ、言語ハ、無形物ナル故ニ、天ノ風アルカ如シ、雨ハ形迹ヲ見ル、故ニ事ノ如シ、風雨ノ本ハ皆道ニ外カナラス、然ラハ世人我言ヲ以テ知ラズ、行ヒ難シトスレド、人々皆言語飲食スレハ、是ニ由リテモ、十分ニ道ノ作用アルヲ知リ得ヘキコト、斯クノ如ク解セサルハ、畢竟言語飲食ノ一偏ニ拘泥シテ、其宗家アルヲ知ラザルヲ以テノ故ナリ、○吳子曰、宗ハ族ニ貴ハル、而シテ一族ヲ統ヘリ、

君ハ國ニ貴ハル、而シテ一國ニ主タリ、柔弱謙下、以テ衆言ノ統ヲリ、族ノ宗アルカ如シ、以テ諸事ノ主タルヘシ國ノ君アル如シ、夫唯無知。是以不我知。

○世人ハ斯ク一方ノミニニ拘泥シテ、其本アルヲ知ラズ、風雨ノミニ注目シテ、其本尊ヲ知ラザル故ニ、我本尊ノ道ノコトヲ言フヲ知ラズ解セサルナリ、夫レ風雨ノ起因スル所ハ、天地陰陽ノ作用ノミ、天地陰陽ノ作用ハ、虛無自然ノ道ナリ、虛無自然ノ道、吾等ノ言語飲食セシムルト云フ、悟リテ開クトキハ、何ソ解シ難キアラン、何ソ行ヒ難キアラン、

知我者希。則我貴

○世人ハ我言ヲ解シ、我道ノ如何ヲ知ルモノ鮮キハ、必畢吾道ハ天地萬物ノ與ト爲リテ其根抵ヲ占ムル故ニ、俗人ノ觀察シ及ハサルナリ、其觀察ノ及ハサルハ宏大無偏ニシテ、貴キ所以アレハナリ、

是以聖人被褐懷玉。

○道ハ俗眼ヨリ見レハ、實ニ作用價値ノ無キニ似タレド、其實ハ然ラズ、天地萬物ノ根元ト爲ルモノナレド、外面ニ輝キ照ラサ、ル如キモ、其裏面實ニ光輝アルモノ伏セリ是ノ故ニ道ヲ悟ルノ聖人ハ、外面ハ常人同様ニ、短キ毛布ヲ着ケテ、格別立派ヲ見サ

レレ、其内面ニハ金玉ノ價值充分アルモノヲ懷ケリト、蓋シ被禍懷レ玉ノ語ハ、當時ノ俚語ナラン其俚語ヲ使用シテ、老子ノ道ノ價值アリテモ、輝ガサ、ルニ譬ヘ、人ヲシテ末ニ馳セヌ、本體價值アル道ヲ自得セシメントテ、身近ノ俚言ヲ引用セシナラン  
○玉曰、被禍モノハ、其座ニ同ラスルナリ、懷レ玉モノハ其真ヲ賣トスルナリ、聖人ノ知り難キ所以ハ、其座ニ同フシテ、殊ニセヌ、玉ヲ懷キテ濼ラサルヲ以テナリ、

七十一章

主意 前章被禍懷レ玉ノ意ヲ釋シ、聖人ハ本尊ヲ無爲自然ノ道ヲ知レ知テサ  
知テサハ知テサハ、外ニ見ハサルヲ言フ、

知不知上。不知知病。

○已レ道ノ極意ヲ充分知ル故ニ、何事モ道ノ本体同様ニ自然ノ儘ニ行フ、故ニ外ヨリ見ルハ知テサナルニ似タリ、猶ホ堯舜ノ法律刑罰ヲ置クモ、民惡ヲ爲サ、ル故ニ用ササルヲ如ク、眞知ノ氣象ノ不知ニ似タリ、其俗眼ヨリ見レバ、不智暗愚ニ見ラレトスレドモ是レ必聖上ト爲リテ貴キ所以ナリ、其政悶々、故ニ其民淳々タルナリ、然ルニ道ヲ知ラサルモノハ兎角法律刑政ヲ明ニスル故ニ、知アルニ似タレトモ、其實ハ大患ヲ引キ起スナリ、即チ其政察々ナレトモ、其民ハ缺々タルナリ、大知若レ愚ト亦是ノ意ナリ  
夫唯病病。是以不病。

○聖人ハ道ヲ知ラスシテ知ラズ風ヲ爲ストキハ、患ヒ來ルヲ知ル故ニ、兎角物事扣目ニ、自然ノ儘ニ任シ、私智術數ヲ用ヒサル故ニ、國家無爲ニシテ、化成スルナリ、斯ク病フヘキヲ患フル故ニ、病ヘノ興ルヲナシ、

聖人不病以其病病是以不病。

○聖人ノ國家ヲ無爲ニ化成シテ、患ヘサルモノハ、其病ノ來ル元因ニ注意シテ、病フル故ニ、病ヒ無クシテ、國家ヲ治ルナリトテ、人ヲシテ、私智ヲ貴ヒ其本源ノ無爲自然ヲ知ラシムルヲ勸シナリ、

七十二章

主意 德清曰、此章人ニ形ヲ遣シ、欲ヲ去リ、道ニ入ルノ工夫ヲ爲シテ、以テ聖人無知ノ地ニ遣ルヘキヲ教フト、

民不畏威大威至。無狹其所居。無厭其所生。

○人君ナルモ、法制禁令ヲ以テ、人ヲ威シ治ントスレハ、民皆一擧手一投足ニ至ル迄、其威ニ觸レシヲ恐レ、忌避逃竄シテ、其本業ヲ務ムル心ナシ、本業ヲ務メサレハ、勢ヒ法網ヲ潜リ、巧欺ノ事ヲ爲ス故ニ、還ツテ天下ヲ治ムル能ハサルニ至ル、之ニ反シテ、天下ノ人民カ、法律刑罰ノ畏ルヘキヲ知ラスシテ、自然ノ儘ニシテ、其本業ニ安スルコト、即チ至極大ナル上ノ威光ノ至リテ行ハル、所以ナリ、下モ、民上ニ位スル天子不

ルヲ知ス、所謂帝力何有於我ノ氣象ノ民ト爲リ、上ノ規則法律杯ハ少シモ知ラヌナ  
リ、又其下民ノ居場所ヲ狹メル様ニ、之ヲ壓制束縛セス、又其生ノ儘ヲ厭ハセテ、巧詐  
欺僞ノ行ヒヲ爲サシメス、所生ノ業ヲ甚タ樂シミテ、厭フ様ノコト無キコソ、眞ニ無爲  
ノ化ナリ、蓋シ此處衆說アレバ、愚ハ上章上德者不徳ノ解シ方ト、同一ニ視做シテ、  
講述セリ、

夫唯不厭是以不厭。

○人民皆其生活ヲ樂ミテ、本業ニ相安シ、所謂魚ノ江湖ヲ忘ル、氣象ヲ具フルコ至リテ  
コソ、人君ノ肯テ下民ニ厭ハル様ノコトハ、毫モ無キナリ、是必覺人君ノ察々ノ政ヲ行  
ハス、悶々昏々トシテ、自然ノ儘ニ任スルヲ以テノ故ナリトテ、下句ヲ引キ起ス、

是以聖人自知不自見。自愛不自貴故去彼取此。

○斯ク天下太平無事ニ治マルハ、自然ノ儘ニ任スルヲ以テノ故ナリ、是ヲ以テ、聖人ハ  
充分ニ天下ヲ治マル道ヲ得知レバ、之ヲ自ラ見ハスコトセス、兎角悶々ノ政ヲ爲シテ、  
其威光ヲ見ハサス、又自ラ天下ニ厭ハル様ノコトヲ爲サスシテ、已レテ愛護スル所以ノ  
政ヲ爲セバ、己レノ位地貴シト爲シテ、下ニ驕ル様ノコト無ク、兎角扣目ニスル故ニ、彼  
ノ常人ノ刑罰ヲ以テ、天下ヲ威ス様ニ政ヲ爲サシテ此ノ無爲自然ノ道ヲ守リテ、民ニ  
厭ハレサルコトヲ爲スナリ、即チ前章被レ禍懷レ玉ノ意ナリ、

七十三章

主意 自然ノ道ニ於テモ、善ヲ爲セハ、善報アリ、惡ヲ爲セハ、惡報アル道ヲ説キシ  
ナリ、儒者ノ所謂天命可畏ノ意、○德清曰、此ハ天命畏ルヘク、感應照然タレハ、輕

忽ニスヘカヲサルナリ

勇於敵則殺。勇於不敵則活。○勇ニ於敵ノ勇字ハ倒句

○夫人皆勇ヲ好ミ、戰ヲ進メ、白刃ヲ踏ムモノハ、必ラス我一命ヲ戕ナヒ、禍咎ヲ被レバ  
之ヲ反シテ、進ムヘカヲサル場合ヲ知リテ、戰ヒ杯モ輕卒ニ爲サス、馮河ノ勇ヲ敵テ  
好マサルモノハ、自ラ禍ヲ逃レテ、身ヲ全フスルコトヲ得ルナリト、蓋シ勇ニ於敵ハ、前  
章所謂輕敵ナリ、勇ニ於不敵不爭ナリ、

此兩者。或利或害。天之所惡。孰知其故。是以聖人猶難之。

○一ハ勇ヲ好ミ、一ハ事ニ臨ミテ、敢テセス、一ハ退クニ勇、一ハ進ムニ勇ナレハ、兩者  
皆勇無キニアラス、然ルニ人命ヲ輕ロンシ、白刃ヲ踏ムモノハ、其身ヲ害スルアリ、  
事ニ臨ミテ懼レテ濫リニ、進マサルモノ、生命ヲ全フスルハ何ソヤ、兩者ノ利害ハ、甚  
ク明カナリ、何トナレハ、天道ハ盈ツルヲ惡シテ、謙スルヲ好ムモノナレハ、戰ニ勇ミ  
人ヲ殺スコトヲ嗜ムモノハ、人ノ惡ム所ナルノミナラス、天モ亦大ニ之ヲ惡メリ、而シ  
テ世ノ人、是ノ理ヲ知ラス、一時ノ僥倖ヲ願ヒ、疎暴過激ノ事ヲ爲スモノアリ、是天道

ニ逆ヲ以テ、遂ニ天誅ヲ被リ、死サル、所以ナリ、聖人ハ此道ヲ明カナルヲ以テ、勇氣ニ任セ、事ヲ爲スヲ難ハカリテ、敢テ物事ニ逆ラヒ、争フ様ノ事無シトテ、下句ヲ引起ス、○一説ニ此兩者以下ヲ解シテ曰、勇チ好ムモノハ死シ、好マサルモノハ全キ理カレバ、然シ此ノ兩者ヲ實地ニ合セテ云ハ、或ハ敢者コシテ活キ、不敢者コシテ死スルモノナリ、勘定道理ニ行カサルヲ見レバ、天ノ惡ム所、果シテ何レノアルヤ、誰カ其ノ故ヲ知ラズ、是ヲ以テ、聖人ノ如キ、物ノ理ヲ明カナル人ト雖モ、猶之ヲ知ルヲ難トスル也云々、此説亦從フヘシト雖モ、余ハ依然先儒ノ解ニ從フ、何トナレハ或人ノ説ハ、本文或ノ字ニ拘泡セルヲ以テ、斯ク説ケル、或ノ字ト、兩者ニ對シテ、下利モイテレハ必ラスシモ、反對ノ意味ノ處ノミニ、用サルコトアラス、○利ハ活キ云ヒ、害ハ死ク云フ、

天之道不爭而善勝。不言而善應。不召而自來。緝然而善謀。○緝ハ音吐但反即チ寬祐綽

然ノ義ナリ、一本點ノ字ニ作ル

○聖人ノ物ニ逆ハスシテ、疎暴過激ノ行ヲ爲サ、ルハ、是レ天ノ道ナリ、天ハ惟ク争ハサルコト由リテ、萬物皆天ニ從ヒテ、屈服セリ、天ハ惟ク言ハスシテ、四時錯行、寒暑來往ノ理アリ、陰陽ノ往來人ノ召クヲ待タスシテ自ラ至レリ、天無心ナリト雖モ、善惡應報ノ理ニ至リテハ、急ニ爲サルトモ必ラス違フ無シ、是人謀ノ善ク企テ及フ所ニア

ラス、以上天道ハ善コ利シ、惡ニ害シ、疎暴ヲ咎メ、慎重ニ福スルノ理ヲ言フ、易謙卦象ニ、天道虧レ盈而益謙。地道變レ盈而流謙。鬼神害レ盈而福謙。人道惡レ盈而好謙。ト亦是意ナリ、

天網恢々。疎而不失。○一本ニ失ハ漏ニ作ル

○天ノ惡人ニ於ケルハ、人ノ力ヲ以テ、與ニ争フ如キニアラサレバ、而レテ天定リテ、自ラ能ク人ニ勝ツ、人ノ口ヲ以テ與ニ言フノ如キニアラスシテ、其應響ノ聲ニ應スル如ク、應報ノ速カナル、之ヲ召スヲ待タスシテ自ラ來リ至ル、惡ニ惡ノ報アリ、智計ヲ用ユト雖モ、逃レ免ルヘカラス、天無心ト雖モ、坦然平易報應ニ巧ミナル、人謀ノ善ク及ブ所ニアラサルナレバ、此天ノ法網ハ恢々トシテ、廣ク行キ亘リテ、綿密ナラサル若クナレバ、然レテ未ダ管テマツノ惡人タモ、此ノ法網ヨリ取失ナヒテ罰セサルコト無シ然ラハ人扣目ニ、物事ニ逆ハス、其自然ヲ守ルヘシトナリ、○希逸曰、言フ心ハ、善惡吉凶一毫モ定マラサルト云フコト無シ、聖人ノ道ニ於ケル、無爲ニシテ争ハスト雖モ、而レテ是非善惡一毫モ亂ルヘカラス、此數句又天ヲ以テ道ニ喩フト、

七十四章

主意 此章モ必竟上章ヲ承ケテ云ヒシニテ、自然ノ道ニ背キ、私智ヲ用非テ壓制等ヲ爲スルハ、却テ己レヲ傷クルニ至ルナリトテ、人ヲシテ自然ノ道ヲ得セシムルニ

アリ、○德清曰、上章天道無言ニシテ、賞罰ヲ遣セスト云フヲ承ケテ、以テ天下ヲ治ムルモノハ、當サコ天ヲ敬シ民ヲ保シ、心殺ヲ尙ヒテ、以テ道ヲ傷ルヘカラサルヲ明カスト、

民不畏死奈何以死懼。

○法律刑罰ノ條令ヲ設ケ、以テ民ヲ威服セシムルハ、世上一般ノコナレド、民カ激動シテ、忌諱ヲ甘シ犯シテ死ヲモ畏レサルト云フニ至リテハ、少シモ民ヲ威サシカ爲メニ設ケシ法律ノ効能ハ無益ナリ、

若使民常畏死而爲奇者。吾得執而殺之孰敢。

○斯クノ如ク、民激動シテ、忌諱ヲ犯スト謂フニ至リテハ、何如程、威ヲ擅ニスルモ、其効能ハ無キナレハ、若シ民ヲシテ、眞ニ死ヲ厭ヒテ、生ヲ樂マシメント欲スレバ、常人ノ如ク、終始法律ノミヲ弄セスレテ、萬一奇僻邪行ヲ爲スモノアレハ、之ヲ執ヘテ、法ニ處シテ刑スルナレハ、萬民皆是ヲ戒メテ、法ノ威アルヲ知ル様ニ立チ到ル、故ニ執レモ肯テ惡ヲ爲スモノハアラサルナリ、故ニ聖人ハ法アルモ、肯テ濫リニ、之ヲ用シテ人命ヲ罪過ニ擠サル様ノ、事ヲ爲サ、ルナリ、

常有司殺者殺。○殺テ可ルモノハ、天ニテ、前所謂天網ナリ、世ノ治マルニ當リテ、奇僻怪異ノ行ヒテ爲

シ、恣ニ無理非道ノ事ヲ爲スモノハ、天ニ逆フ故ニ、吾ハ天網ニ由リテ、之ヲ殺スナリ然ラハ吾之ヲ殺スニ非ラスシテ、天ノ然ラシムル所ナレハ、世ノ威ヲ弄シ濫リニ、人ヲ殺スモノトハ大ニ懸絶セリ、

夫司殺者。是大匠斲。○大匠ハ天

○聖人ノ姦邪横行ノ民ヲ殺スハ、人爲テ用非スシテ、自然ニ從フナレハ、是ハ大匠ノ木ヲ斲ルニ喩フニ、皆木ノ自然ニ從フテ斲ル、故ニ上手ニ裁斷シテ、其用ヲ爲セリ、然ルニ若シ自然ニ從ハス、唯已レニ任スルモノハ、其痕迹ヲ見ハスノミナラス、自ラ身ヲ傷ツコトアリトテ、下旬ヲ引キ起ス、

夫代大匠斲者。希有不傷其手。○代大匠ハ法ニ任シテ、

○已レ拙工ナルニモ拘ハラスシテ、一箇ノ了見ニ任セテ、大匠ニ代リテ、材木ヲ削ルハ、材木ハ勿論其身體迄モ、傷ツクルナリ、其ノ如ク法律ノミニ任セテ、人民ヲ治メントスルハ、人民激動シテ、遂ニ法網ヲ輕ンシテ、國家ヲ紊亂スルニ至ルト、蓋シ當時人君威ニ任セ、殺ヲ嗜ムモノアリ、故ニ老子之ヲ戒メントシテ、此ノ論アリ、其意豈ニ盡ク刑ヲ廢ンヤ、書云、天討ニ有罪ニ五刑五用哉、三代ト雖モ、皆刑罰ヲ用非サルニアラス、唯天ニ任セテ、之ヲ用非ルナリ、然ラハ天下ヲ治ムルニ刑ヲ廢セスシテ、其天ニ任セテ用フルコソ、老子ノ意ニ叶フヘケレ、

七十五章

主意 此モ上章ト同シク、私智ニ任セス、自然ノ道ヲ守リテ、無爲淡泊ニ、天下ヲ化成スヘシト云フニ在リ、○德清曰、此ハ上章ノ民、不レ畏レ死ノ故ヲ釋シ、以テ天下ヲ治ムルモノハ、當サニ淡泊無欲ヲ以テ、本ト爲スヘキヲ教フ、

民之饑以其上食稅之多是以饑。

○天下人民ノ饑餓困窮ニ陥ルモノハ、人君タルモノ、賦稅ヲ重クシテ、已レ用ニ立テ逸樂驕奢ヲ事トシテ、民ノ食物ヲ已レ取リ上ケテ、食フヲ以テノ故ニ、民遂ニ飢渴ニ逼ルナリ、然ラハ天下ノ貧シキハ、全ク人君ノ所爲ニ起因スルナリ、孟子所謂庖有肥肉。廄有肥馬。民有飢色。野有餓殍。此率レ獸而食レ人也獸相食。且人惡レ之。爲レ民父母行レ政。不レ免レ於率レ獸而食レ人惡レ在レ爲レ民父母ト同意ナリ

民之難治以其上之有爲。是以難治。

○人民ノ巧詐欺僞ヲ爲シ、天下太平ナラサルハ、人君自然ノ道ヲ守ラス、法律智術ヲ以テ、天下ヲ攪キ廻ハス、故ニ民其威ヲ畏レ、本業ヲ安セス、唯巧詐欺僞ナル事ヲ爲シ、兎角法律ノ下ヲ潜リ以テ生ヲ保タントセリ、是畢竟人君ノ無爲自然ノ道ニ由ラス、法律智術ノミニ任スルヲ以テノ故ナリ、○蘇子曰、上有爲ヲ以テ民ヲ導クハ民亦有爲ヲ以テ之ニ應ス、故ニ事多シテ治メ難ク、上利欲ヲ以テ民ニ先ツ、民亦爭ンテ生ヲ厚ク

ル故ニ死スト雖モ利ヲ求メテ厭ハス、生ヲ貴フノ極ハ必ラス死ヲ輕スルニ至ル、惟生ヲ以テ爲スニ無シ而シテ生自ラ全シ、

民之輕死。以其求生之厚。是以輕死。○生ハ生活ナリ

○民固ト死ヲ重スル者ナレド、人君己レノ生ヲ厚シテ、下ヲ憐マス、重歛スル故ニ、民亦生ヲ保チ、饑ヲ忍ンカ爲メニ、終ニ死ヲ輕シテ、巧詐欺僞ノ事ヲ爲シ、同類相殺スニ至ル、斯ク死ヲ顧ミス、惡事ヲ爲スハ、是人君生々ノ道ヲ求ルノ厚キヨリシテ、此ニ至ルナリ、

夫唯無以生爲者是賢於貴生。

○人君眞ニ能ク自ラ奉スルヲ無ク、自ラ養ハサレハ、民又無爲自然ニ其本業ニ安ンシ、衣食等ノ不自由無キ故ニ、敢テ外ニ馳セ、巧詐欺僞ノ行ヲ爲サ、ル故ニ、國家安穩ナルヲ以テ、民亦禍ヲ被ルヲ無シ、是人君己ノ生活ノミニ汲々セサルハナリ、斯ク結果ノアルハ、人君ハ無爲淡泊ナル故ニ、今人無爲淡泊ナラサルヘカラストテ、當時人君ヲ警醒セシナリ、

七十六章

主意 柔ヲ尊フヘキヲ言フ、蓋シ老子ノ道ハ、物事一步ヲ退ソケテ、柔ナルヲ尊フ是レ老子ノ悟リノ根元ナリ、故ニ國ヲ治ムモ、柔ニ由リ、兵ヲ用ルモ、柔ニ由ルヘ



キノ説ヲ主張セリ、○希逸曰、老子ノ學ハ、柔ヲ尙フヲ主サトル故ニ、此章人ト草木トノ生死ヲ以テ喩フ、

人之生也柔弱。其死也堅強。○生ハ人ノ生

活スルヲ云フ

○我道ノ柔ナルコトノ貴キ、証例ヲ、人身ニ徴シテ、擧ケンニ、今我々ノ此現世ニ生活スルノ間、身體順柔ニ精神ノ向フ所ニ從カヘリ、之ニ反シテ死スト、同時ニ、身體強硬ト爲リ、生存中ノ如クナラサルナリ、是ニ由テ、之ヲ觀テモ、柔ノ強ニ勝ルコトヲ知ルヘキナリ、

萬物草木之生也柔脆。其死也枯槁。

○萬物草木ニ就キテ、試ミ見ルニ、草木ノ花咲キ、枝葉ノ茂ルルハ、生氣柔軟ナリ、其生氣絶ヘテ枯槁スルルハ、堅固ナリ、彼ノ埋木ノ化石ト爲ルカ如キハ、尤モ其証ノ確ナル一ナリ、此ノ理ヲ推スルハ、柔ノ貴キヲ明カナリ、

故堅强者死之徒。柔弱生之徒。

○然ラハ、兵力威力ヲ以テ、天下ヲ御スルモノハ、已レノ生命ヲ棄ツル仲間ニ入ルモノナリ、之ニ反シテ物事扣目ニ虚無自然ノ道ヲ守リテ、柔順ニシテ、天下ニ落ムモノコト、已レノ生命ヲ保ツノ徒黨ナリ、死ノ徒トナラス、生ノ徒トラントセハ、柔ノ道ヲ貴ハサルヘケンヤ、

是以兵強則不勝。

○兵ノ強キヲ恃ムモノハ、兎角無理非道ニ、故無クシテ、人ノ國土財物ヲ掠奪セント爲ルモノナルカ爲メ、人々怨ミヲ生シ、遂ニ干戈ヲ以テ我ニ抗抵スルモノアルニ至ル、故ニ一時壓服スト雖モ、到底歴スル能ハサルナリ、所謂兵驕者敗トハ亦此意ナリ

木強則共。強大處下。柔弱處上。○共ハ拱ナリ兩手ヲ合スナリ即チ兩手ヲ合セテ抱ヘル如キ大サヲ云フ

○木己ニ堅固ニナルルハ、大サモ兩手ヲ合セテ抱ヘル程ニ至ルナリ、斯ク強大ナル樹木モ、枝葉ノ下ニ居レリ、枝葉ノ根幹ノ上流ニ位スル所以ノモノハ、柔弱ナルヲ以テナリ、強兵勝タスシテ却テ人ノ下手ト爲リ、柔兵勝ヲ得テ上手ヲ占ムルニ喩フ、即チ兵ハ正ニシテ、木ハ喩ナリ、正喩對出シテ、而シテ喩タル木ニ就テ結フ、新奇ノ筆、極メテ妙ナリト謂ッヘシ、

第七十七章

主意

柔能ク剛ヲ制スルヲ論點トセリ、上章ハ、人生ノ死生ニ就テ、其証ヲ擧ケ、柔ノ貴フヘキヲ言ヒシヲ承ケ、其故ニ天ノ道ハ、一步後ロニ退クヲ善シトスル意ヲ喩ヘ以テ示セルナリ、○徳清曰、此ハ天道ノ妙ヲ言フテ、以テ聖人天ニ法リ、以テ用ヲ制スルヲ明カセリ、

天之道其猶張弓與。高者抑之。下者舉之。有餘者損之。不足者補之。

○天道ハ盈ヲ惡ミ、謙ニハ益ス、故ニ之ヲ譬ヘハ、弓ヲ張ル如キモノテアロウカ、蓋シ今弓ヲ張ル者ハ、其體ノ仰キテ高キニ過クルキハ、之ヲ抑ヘテ俯セシメ、又餘リ下ニ俯スモノハ之ヲ仰カシメテ、其體ノ備ヘテ正シテ、餘リ高キ所ハ之ヲ抑ヘル様ニ損減シ高キニ至ラヌシテ、下過キルキハ之ヲ仰カシメル様ニ、不足ノ所ヲ補フテ、所謂内志正外体直ト云フノ處ニ至リテ、射放ツナリ、斯ク身体ノ平均ヲ取リテ、正シクスルカ天道ノ盈テルヲ惡ミテ、謙ニ益ス所ニ能ク似タルナリ、○愚曰、高下ヲ舊來弓ニ屬シテ説ケル、余ハ弓ヲ張ル人ニ屬シテ説クナリ、舊注高ハ弓ノ握手ノ處ト云ヒ、下ハ弱ヲ以テ説クナリ、故ニ下句有餘不足ハ弓ヲ離レテ説ケル、文理ヲ以テ推スニ離ラズ離ルヘカヲサルナリ、何トナレハ下句天之道云々ト重複スレハナリ、

天之道。損有餘而補不足。人之道。損不足以奉有餘。

○彼ノ天道モ亦此レト同様ニ有餘ハ減却シテ不足ニ補フ、春夏秋冬ノ一往一來ヲ見テモ知ルヘキナリ、故ニ天ニ則ルモノハ、其心公平均一ナルヲ以テ、人ノ生ヲ害シ、己レニ奉スル様ノヲ無シ、是ヲ以テ天下不足ヲ訴ヘス、家給シ人足ルナリ、然ルニ、天ニ違フ通俗ノ人ハ、兎角下ニ取リテ、上ニ益シ、不足ヲ損シテ、有餘ノ己レニ奉シ、横征暴斂至ラサル無シ、是レ天道ニ逆フ所以ナリ、

孰能有餘以奉天下。唯有道者。

○人皆民間ノ饑餓困乏セルヲモ願ミス、賦税日ニ増シ、苛斂横征シテ己レノ逸樂驕侈ノ資本ト爲スモノ多キ中ニ就キテ、孰カ眞ニ克ク己レノ奉ヲ減シ、以テ天下ノ困乏ヲ救フモノカアルヤ、獨リ天道ヲ信スル人君ノ之ヲ克クスルノミ、○吳子曰、有道ノ君ハ貴ハ天子ト爲リ富ハ四海ヲ有セテ、自ラ其貴富ヲ有セス、飲食ヲ菲フシ、衣服ヲ惡クシ、宮室ヲ卑クシ、天下ノ爲メニ、財ヲ惜ミテ、苛費セス、田里ヲ制シ、樹藝ヲ教ヘ、稅斂ヲ薄クシ、民家ヲ給足セシメルハ、是レ己レノ餘リ有ルヲ以テ、天下ニ奉スルナリ、是以。聖人爲而不恃。功成而不處。其不欲見賢。

○天道ヲ守ル聖人ハ斯ク民庶ノ爲メニ、心ヲ竭クスモ、之ヲ恃マス、其成ス所ノ功ヲ以テ自ラ處ラレスシテ、功無キカ如クニシテ、其民ニ於ケル功能ノ人ニ賢スルヲ外ニ見ハスヲ欲セサルナリ、期ク物事扣目ニシテ恃ミ驕ラサル故ニ、能ク有餘ヲ減シテ不足ヲ補フナリ、是レ天道ノ存スル所ナリトテ、章首ニ呼應シ、天道ノ重スヘキヲ示セリ、

第七十八章

主意 柔弱ノ堅強ニ勝ツト上章ヨリ一層強ク説キシナリ、○德清曰此ハ通篇柔弱ノ意ヲ結ヒテ、人知リテ、能ク行ハンヲ欲スルナリト

天下柔弱莫過於水而攻堅強者莫之能勝其莫以易之。○易ハ代フルナリ。簡易ノ易ニアラス。

○柔ノ道ノ貴キヲ、之ヲ木ニ喩ヘテ、言ハシム。水ハ方圓ノ器ニ從フ故ニ、柔軟、此上無キモノナレト、然レト、點滴ノ能ク石ヲ窪ムルアリ、河水ノ堤防ヲ破ルアリ、斯クノ如ク、石杯ノ固キニ打勝ナレト、萬物中水ノ柔弱ニ易フヘキモノナシ、水既ニ然リ、況ンヤ人ノ斯道ニ由ルモノヲヤトテ下句ヲ引起ス。

弱之勝強。柔之勝剛。天下莫不知。莫能行。

○弱ノ強ヲ制スルハ、水能ク土石ヲ穿ツ如クト、一般ニ物事扣目ニスレハ、天下化成シテ已レニ從ハサルハ無シ、其理世人知ラサル無キモ、克ク之理ヲ實行スルモノ無ク、已レノ勢力威力ヲ以テ、天下ヲ厭當セントス、猶石塊ヲ以テ、水中ニ投スルカ如ク到底其功ヲ見ル能ハサルナリ、○莫レ不知ハ水ニ就テ言フ、柔ノ剛ヲ制スルヲ、水ニ就ケハ、云々、

是以聖人云。受國之垢是謂社稷主。受國不祥是謂天下王。正言若反。

○柔ヲ守ルモノハ、克ク耻辱ヲ忍ビ耐ヘ難キヲ堪ヘル故ニ克國主トナルナリ、文王ノ幽里ニ於ケルカ如ク、大王ノ獯鬻ニ於ケル如キハ辱亦甚シ、而レト克ク其社稷ヲ守リテ失ハサンナリ、又一時國ノ殃ヲ被レト、肯テ物ニ逆ハサレハ、天下ノ王タルヲ失

ハサルナリ、湯ノ葛ニ事ヘ、句踐ノ吳ニ事フル如ク、一時ノ不祥ヲ忍フ、故ニ遂ニ能ク禍ヲ脱シテ其福ヲ受ケルナリ、然ルニ、世人勝ヲ樂ミ、負クルヲ耻ツルヲ以テ強ト爲シテ羞ヲ包ミ耻ヲ忍フ益アルヲ知ラス、故ニ言論等モ、常人ノ思フ所トハ、相反セリ、然レト其實ハ、正理正道ニ叶ヘルナリ、二十八章知其榮守其辱ト同意○垢ハ辱ナリ人ノイヤカル耻辱ヲ云フ○不祥ハ美カラサル名不吉ト云フ如シ垢ノ意ナリ

第七十九章

主意 天道ハ無我無心ナレハ、人亦無我無私ニシテ、不爭ノ徳ヲ守ルヘキヲ言フ、蓋シ當時割據ノ世ニシテ、兵力ヲ戰ハシ、智力ヲ爭フ世ノ中ナルヲ以テ無爲ノ世ニ回サントスルノ意、言外ニ見ハル、○徳清曰、此ハ聖人無心ノ恩ハ、施シテ報ヲ責メサルヲ、言フテ、以テ當時利ヲ計ルモノ、爲メニ發ス、

和太怨必有餘怨安可以爲善。

○人ハ天ノ虛心ヲ守ラサルヘカラス、何トナレハ、我内心ニ競爭ノ意アルトハ、一時恩徳ヲ施スモ、彼レ有難シト感スルモノ無シ、其証據ニハ一度人ト大ナル怨ミヲ結フトハ、和陸スト雖モ、必ラス餘怨ノ釋然タルモノニアラス、是必畢我心ニ私シアレハナリ、故ニ表面ノ怨ミ釋クルトモ、餘怨内ニ伏スナレハ、怨ミ釋ケサルモ、同様故ニ寧ソ善ト爲スヘケン、故ニ聖人ハ初ヨリ、公平無我ニシテ、人ト怨ミヲ結ハサル方ニ、注意

セリ、其工夫ハトテ、下句ヲ引起ス

是以聖人執左契。而不責於人。

○聖人ハ身ニ道德ヲ具ルトモ他人ヲ責メ求メテ、我ニ靡カシムルヲ爲サス、譬ヘハ人  
 ニ、金錢ヲ貸シテ、己レ證據ヲ持チ、居ルモ、夫レヲ以テ責立テ、取り立ツルヲ無ク、  
 自然ニ任スル故ニ、貸セ主ト借リ主トノ間ニ決シテ、争ヒテ引キ起サス、却テ借主ハ  
 其德義ニ感シテ、其期日通りニ返濟スルト、同一ニ、己レ恩義ヲ取り、民ニ慕ハル、モ  
 決シテ怨ヲ招ク様ノヲ無シ、○契ハ木ヲ刻ミ、以テ券ト爲シ、之中分シテ、各之ヲ取  
 リテ信ヲ表スルナリ、契ニ左右アリ左契ハ財ヲ主サトルモノ、所ニアリ、右契ハ財物  
 ヲ取ル人ニ付與ス、俗ニ云フ証書ナリ、

有德司契。無德可徹。

○徹ハ剝キ取ルナリ  
希逸ハ明ト解セリ

○是故ニ有德者ハ、己レニ從ハセント無理セサル故ニ、人民皆其德ニ感化スルヲ以テ威  
 力兵力ヲ以テ、怨ヲ招ク様ノヲ無シ、恰モ貸主ノ証書ヲ司トリテ、無理ニ責メサルト、  
 一般ナリ、之ニ反シ無德者ハ、己レノ強ヲ恃ミ、人民ヲ剝取シ、他國ヲ掠奪スルヲ、猶  
 ホ高利貸ノ証書ヲ以テ督促シテ、元利共ニ剝キ取リスルカ如シ、故ニ人民之ヲ怨ミ思  
 ム、高利貸ト、一般ニ遠ニ腕力ヲ以テ相争フニ至ル、是レ無德者ノ長ク其國家ヲ治ム  
 ル能ハサル所以ナリ

天道無親常與善人。

○天ハ公平無私ナル故ニ、誰ヲ惡ミ誰ヲ愛スルト云フノ事無シ常ニ善行アル人ヲ親愛  
 スルナレハ、人必ラス、公平無我コシテ物事扣目ニスルヲ猶ホ有德者ノ如クナレハ、  
 天道必ラス興コシテ、我ニ禍ヒスヘシ、然ラスシテ、己ノ強ヲ恃ミ、威力ノミニ任スル  
 一、無德者ノ如クナフハ、必ラス天道ノ棄ツル所ト爲リ禍ヒヲ取ルナリトテ、人ヲシ  
 テ于才威力ヲ恃ミ怨ヲ生スル勿ラシム、

第八十章

主意

上章ヲ承ケテ、人一旦争ヒ貪ルノ氣アルハ、怨ヲ生シ大國ト雖モ、遂ニ滅亡  
 ノ禍ヒヲ被ルニ至ル、若シ争フ氣無キハ、他人ト間隙ヲ生セサル故ニ、小國ト雖  
 モ、長ク存スルノ意ヲ釋セリ、

小國寡民使有什伯之器而不用。

○什ハ十人一組伯ハ百ニ通シテ百人一組ナリ  
愈趨後漢書ニ據リテ什伯ヲ隊伍ノ名ト爲シ、

又説文ニハ兵革ノ屬ト爲ス、故ニ  
 愚ハ説文ニ從ヒ兵器ト見ルナリ、  
 ○國既ニ小、民又寡キモ、尙ホ古ノ淳朴ニ反ラシムヘシ、況ンヤ大國ヲヤ、民ヲノ朴實淳  
 厚ニ其本業ヲ安セシメ他國ト争フヲ止メ、兵器ヲ用サレ勿ク各其國土ニ安借セシ  
 ナリ、

使民重死而不遠徙。

○他國ト干戈ヲ弄セス、國土安穩ニ、人民ヲシテ、死ヲ厭ヒ生ヲ樂ミ、本國ヲ棄テ、他國ヲ慕テ、移住セシムル様ノ事勿ラシム、

雖有舟輿無所乘之。雖有甲兵無所陳之使人復結繩而用之。

○舟車ノ設ケアルモ、皆之ニ乗ラサル様ニ、素朴ニ反リ、甲兵アルモ之ヲ陳ラテ用ササル様ニ、カヲ恃マズ、繩ヲ結ヒテ、信ト爲ス様ニ、國民ヲシテ大古淳朴ノ風ニ反ラシムルナリ、○蘇子曰事少ナク民朴ナレハ繩ヲ結フト雖モ足ルナリト

甘其食美其服安其居樂其俗。

○民皆淳朴ノ風ヲ守リ、其分ニ從フテ、衣服飲食スルヲ以テ樂ミト爲シ、敢テ其外ヲ慕ハサルヲ以テ、又巧詐欺偽ノ弊風ヲ見ルナキナリ、○蘇子曰内ニ足リテ外ヲ願フ處無シ故ニ其有スル所ヲ以テ美ト爲シ其處ル所ヲ以テ樂ミト爲シテ、復タ求メサルナリト

隣國相望。雞狗之聲相聞。民至老死。不相往來。

○土壤相接近シ、雞犬ノ聲相聞フル如ク、他國ト近接スレモ、人民生テ厚クシ、死ニ憾ミ無ク、各自足ル故ニ、他國ニ往來セントスルノ心ナキニ至ルナリ、蓋シ老子戰國紛

争ノ時ニ當リ人民本國ニ安ンセス、他國ニ移住スル多キヲ以テ、上古淳朴無爲ノ俗ニ挽回セント爲ル意自ラ見ハル、○徳清曰、此章通篇無爲ノ益ヲ治道ニ施セハ大古ノ化ニ復スヘキヲ結フナリト、

第八十一章

主意 此章通篇立言ノ旨ヲ結ヒ以テ、老子ノ道ハ無爲ノ二字ニ在ルヲ明カス、爲而不争ノ四字尤重シ、是上下二經主意ノ歸宿スルトコロナリ

信言不美。美言不信。

○眞實ノ言ハ、則チ有リノ儘ヲ見ハスコト、故ニ華采無キヲ以テ少シモ美アラサルコ似タリ、故ニ之ニ反シテ、華采美麗ナル言ハ、眞實ヲ離ル、故ニ少シモ、正實ナル無シ、莊子所謂眞言隱ニ於榮華ト、即チ眞言ヲ謂フナリ、

善者不辯。々者不善。

○純徳純善ノ者ハ、辯説ヲ待タズシテ、其善ノ正味見ハルヲ以テ辯論セサルコ似タリ是ニ反シ、喋々辯説ヲ弄スルモノハ、其正味無キヲ以テ辯説ヲ假リテ、外チ粧ホヒ以テ内チ掩フ、ヲ以テ辯説アルコ似タリ、

知者不博者々。不知。

○眞コ道ヲ知ルモノハ、博クシテ物知り顔ヲ爲サ、ル故ニ、淺見寡聞コ似タリ知ラサル

モノハ博ク物知り顔ヲ爲ス、是真ニ知ラサレハナリ、  
聖人不積。既以爲人。已愈有。既以與人。已愈多。

○聖人其心無我無欲ニシテ、天下ニ蒞ムニモ、民ニ取リテ、已レニ積ミ奉スル様ノ私無ク、還ツテ已レノ倉廩府庫迄モ、人民ノ爲メニ與ヘ啓クト云フ如キ、無我公平ナルヲ以テ、天下四方皆愈々其德ニ歸服シテ來ルモノ多キヲ以テ、其德却テ愈在ルナリ、「前章無爲然ニ不爲又虚而不屈愈出ルノ意ナリ」○既ノ字一本盡ノ字ニ作ル

天之道。利而不害。聖人之道爲而不爭。

○天ノ道ハ萬物ヲ生々化育シテ、已レ其效アリト爲シテ、之ヲ害セサルナリ、聖人亦能ク天道ニ從ヒ無我無欲ニシテ、テ<sup>レ</sup>化育スレ<sup>ル</sup>、其之ニ主宰タルノ心無キヲ以テ、物ト爭ハサルナリ、爭ハサル故ニ天下萬民其化ニ服シ、各生ヲ喜ヒ死ヲ厭ヒ以テ純朴無爲ニシテ敢テ外ニ馳セズ其本ヲ務ムルナリ、「夫唯是ニ至リテ無爲ノ德自然ノ道ノ大ナルヲ知ル、是老子通篇ノ結ニ不爭ノ二字ヲ用ヰル所以ナリ」

老子講義下卷終

明治二十六年二月十日印刷  
明治二十六年三月十三日出版

版權登錄

編纂者

東京神田區猿樂町三丁目壹番地

西村 豊

發行人

全 日本橋區柳原川岸第二號地

三好 守雄

全 本郷區湯島一丁目十三番地

松本 秋齋

印刷人

全 日本橋區柳原川岸第二號地

學友 館

全 京橋區中橋和泉町四番地

東雲 堂

發賣所

大 阪 鐘 美 堂

心齋橋北詰



大槻東陽先生解釋

# ●訓日本外史

全部七冊 既發

凡る世に學に志を者先づ緒くは日本外史若く者なく亦日本外史と讀まざる者あし然りと雖も原文は意義深遠なる所あるを以て初學人士お至つては師に頼るお非ざれば之と通讀する能はず豈お遺憾の極あらざるや本書は注解簡明恰も其師に親炙し講義と聞くが如くなれば如何なる初學幼童といへども獨習自得するお難ならず實に海内無比の良書なり

大槻東陽先生訓解

# ●國史畧

全三冊 毎月一回 第一の巻既發

本書訓解體載お至りては日本外史と違も異ならず

山本憲先生講述

# ●文章軌範

全四冊 毎月一回 第二の巻既發

●本書は原漢文と四號活字お存し次お五號活字と以て普通文に直し是に由て原漢文と讀むの便おし次お六號活字おて解釋と下し又階頭に文法と示せり

藤田直方先生譯述

# ●訓蒙十八史畧

全四冊 毎月一回 第二の巻既發

●本書は文章軌範と同体おして階頭に解釋せり  
●體裁は各書とも半紙形にして紙數二百頁内外實價は各壹冊拾貳錢郵稅四錢爲換は兩國郵便へ

大坂府尋常師範學校教頭久保田貞則君校閱 中根先生著

# ●大日本新地圖

一部 正價金三十錢

此圖ハ緻密鮮明ナル地圖ニシテ總圖ト畿内八道ノ切圖アリ山脈高山著名ノ山高原平原都府郵便電信局其他至要ノ官衙鐵道官道著名ノ宿驛川澤沼港灣海峽島嶼ヨリ經緯度ノ位置ニ至ルマテ一モ具備セサルコト無シ他ノ杜撰ナル地圖ノ如クナラサルハ一目シテ知ルヲ得ベシ

米國エム、エル、リツチヤールト閱 共愛學館長若原與三郎先生著

# ●萬國新地圖

一部 正價三十錢

此圖ハ緻密鮮明ナル地圖ニシテ第一經緯度ニ於ケル位置正シク航海ノ線路ヲ精密ニ正シ山脈高山高原平原都府河流湖沼港灣洋海地峽海峽島嶼ニ至ルマテ亦ク精密ニ正セリ勿論首ノ地球面圖即チ東西兩半球或ハ南極北極ヲ中央ニ見セタル南北兩半球ノ圖モアリテ總圖ノ他大洲毎ノ地圖アリ且ツ國界詳明ニシテ一目瞭知シ易キ良圖ナリ固ヨリ他ノ杜撰ナル地圖ノ比ニアラス

# ●訓蒙四大家史書

近刻

此等訓蒙四書訓蒙八大家文の最も廣く世に行はるゝもの漢文を學ぶに此上なき好階梯たるは多言と要せし

# ●訓蒙八大家史書

近刻

# 發行所

東京日本橋區柳原川岸

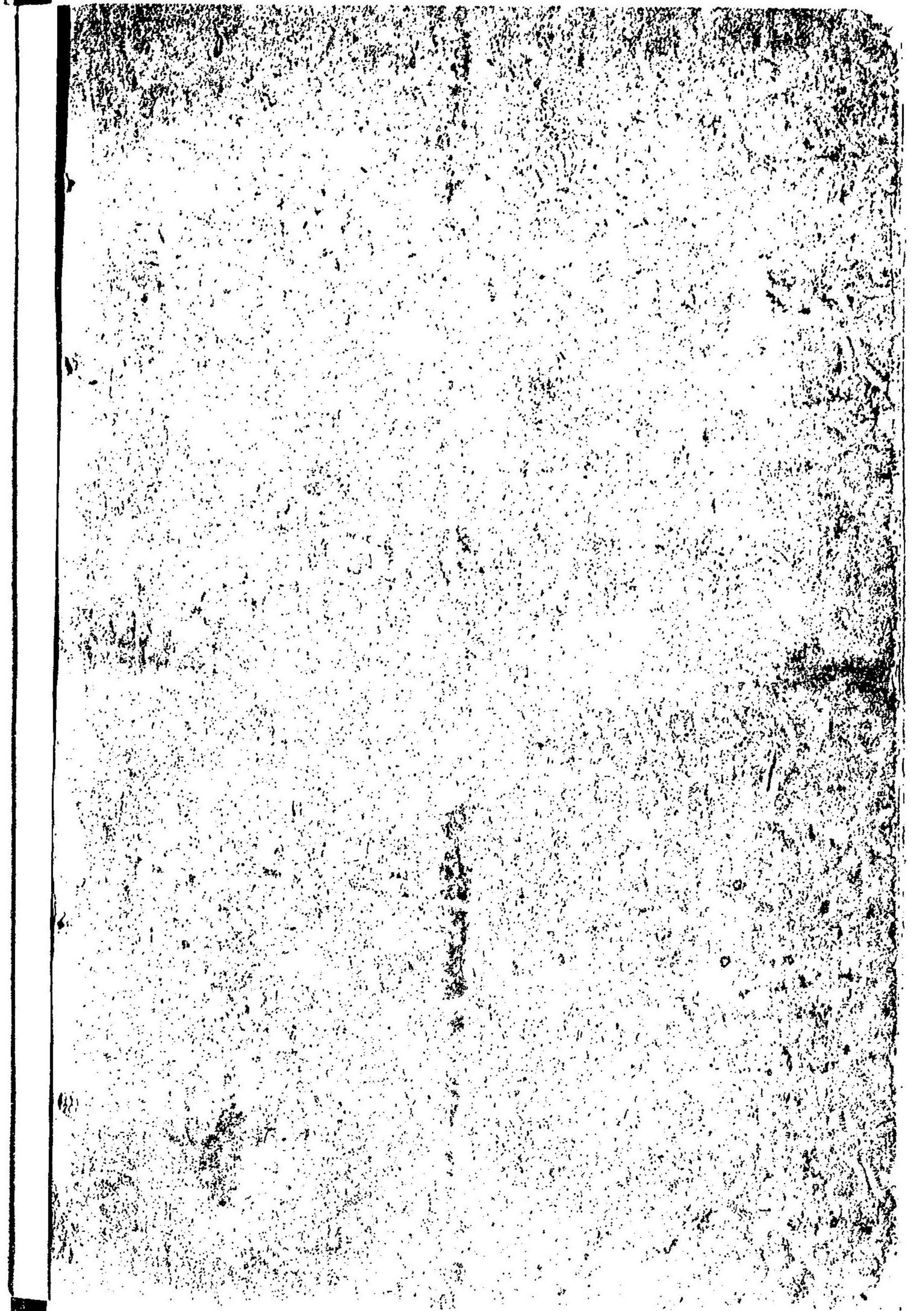
# 學友館

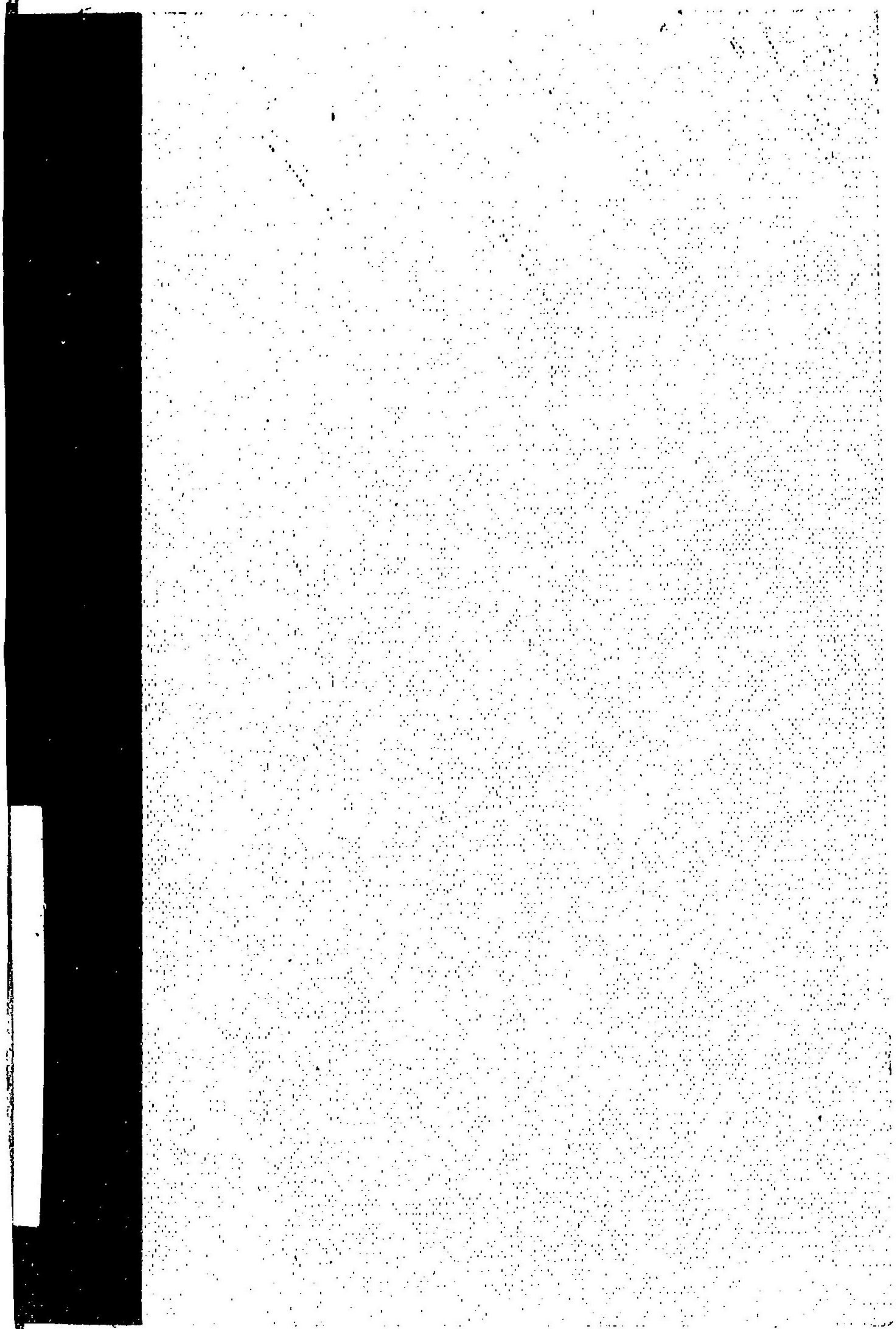
工ト2Y-3

# 書肆東雲堂新版發行書目

唐詩選講義	竹堂岡野英太郎著	正全	價三拾五	錢冊
實地應用日用百科要法	木田吉太郎編	正全	價二拾五	錢冊
記事論說五千題	小池清著	正全	價拾壹	錢冊
文章活法祝文三千題	伊東洋二郎著	正全	價拾壹	錢冊
修身立志談	伊藤省著	正全	價拾壹	錢冊
四季混題發句一萬集	滿月居嫦娥編	正全	價貳拾	錢冊
測量精密帝國新地圖	山中善三郎編	正全	價拾壹	錢冊
新撰精密萬國新地圖	山中善三郎編	正全	價拾壹	錢冊
小說文語繡錦	任天居士著	正全	價貳拾	錢冊
曲尺八早指南	川瀨復重著	正全	價貳拾	錢冊







特 28  
597

008331-000-3

特28-597

老子講義

西村 越溪/著

M26

AAC-0281

